Oracle[®] Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM

管理ガイド - Sun Blade 6000/ Sun Blade 6048 モジュラーシステム



Part No. 821-3083-10 2010 年 11 月、Revision A Copyright © 2007, 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護さ れています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いか なる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。この ソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止 されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、 オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントを ライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS. Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle America, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフト ウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目 的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するため に、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもし くはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責 任を負いかねます。

Oracle と Java は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。Intel、Intel Xeon は、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd.からライセンスされている登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関 する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わ ず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用に よって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。





目次

このマニュアルの使用法 ix

- CMM ILOM の概要 1
 CMM ILOM 機能の概要 2
 ILOM のバージョン 2
 CMM ILOM のドキュメント 3
 このマニュアルについて 3
- 2. CMM ILOM の初期設定 5

CMM ILOM への接続 6

- ▼ シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続 7
- ▼ IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定 9
- ▼ IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と設定 11
- ▼ IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト 16

ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン 17

- ▼ Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのログイン 18
- ▼ CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン 19

CMM の Ethernet ポートの有効化 19

- ▼ Web インタフェースを使用した Ethernet ポートの有効化 20
- ▼ CLI を使用した Ethernet ポートの有効化 21

ブレード SP CLI プロンプトの変更 22

- ▼ ブレード SP CLI プロンプトの設定 22
- ▼ ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリセット 23
- 3. ファームウェアの更新手順 25

CMM ILOM ファームウェアの更新 25

CMM の IP アドレスの取得 26

現在のファームウェアバージョンの確認 26

- ▼ Web インタフェースを使用してファームウェアのバージョンを確認 する 27
- ▼ 管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを 確認する 28
- ▼ シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを 確認する 29

ファームウェアのファイルのダウンロード 29

▼ ファームウェアのファイルのダウンロード 30

ILOM ファームウェアの更新 30

- ▼ Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを更新する 31
- ▼ CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する 32

NEM のファームウェアの更新 33

- ▼ CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する 34
- ▼ Web インタフェースを使用して NEM のファームウェアを更新する 37
 CMM を使用したシャーションポーネントのファームウェアの更新 39
 - ▼ Web インタフェースを使用して ファームウェアを更新する 40
 - ▼ CLI を使用してファームウェアを更新する 42

CMM のリセット 43

- ▼ Web インタフェースを使用して CMM をリセットする 43
- ▼ CLI を使用して CMM をリセットする 44

4. CMM の電力管理 45

軽負荷効率モード(LLEM) 46

LLEM について 46

Web インタフェースを使用した LLEM の設定 46

- ▼ Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効にする 47
- ▼ Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または無効に する 48

CLI を使用した LLEM の設定 48

- ▼ CLI を使用して LLEM を有効または無効にする 49
- ▼ CLI を使用して冗長モードを有効にする 49
- ▼ CLIを使用して非冗長モードを有効にする 49 電源装置のファン速度を調整する 50
 - ▼ Web インタフェースを使用して電源装置のファン速度を設定する 50

▼ CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する 51

電力管理ポリシーの無効化 51

▼ Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを無効にする 52

▼ CLIを使用して電力管理ポリシーを無効にする 53

Sun Blade 6048 の特定の場合における ILOM 3.0 53

2本の電源コード構成の場合の ILOM の動作 53

▼ 2本の電源コード用の CMM を設定する 54
 電源装置の特定の状態における ILOM の表示 55

AC ケーブルの接続が解除された場合 55

AC ケーブルの接続が解除後に再接続された場合 56

stop /CH コマンド 56

start /CH コマンド 57

PSU が1つ取り外されている場合 57

PSU が再挿入される場合 58

5. Sun Blade Zone Manager 59

Sun Blade Zone Manager について 60

Sun Blade Zone Manager 概要 60

サポートされる ILOM インタフェース 60

Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアクセス 61

CLI を使用した Zone Manager へのアクセス 63

ゾーン構成の概要 64

ゾーン機能のコマンド 64

サーバーブレードへのストレージの割り当て 65

ストレージへのサーバーブレードの割り当て 66

サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成 67

SAS-2 対応のハードウェア 67

その他のシステム要件 67

Sun Blade Zone Manager へのアクセス 68

- ▼ Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする 68
- ▼ CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする 71

シャーシのストレージアクセス構成の作成 73

Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成 73

Quick Setup のオプション 74

▼ Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期スト レージ構成を作成する 77

Detailed Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成 79

▼ Detailed Setup を使用して Web インタフェースでシャーシのスト レージ構成を作成する 80

CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成 84

▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を作成する 84

シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更 86

▼ Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および 変更する 87

- ▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する 93
- ▼ Web インタフェースを使用して複数のサーバーブレードをストレージデ バイスに割り当てる 95

▼ Web インタフェースを使用してストレージアクセス構成表を表示する 99 シャーシのストレージアクセス構成の保存 101

ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項 101

新規または変更したストレージアクセス構成の保存 101

ストレージアクセス構成のバックアップ 103

- ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をバックアップファイルに 保存する 103
- ▼ CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する 104
- ゾーン構成の復元 105
 - ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元する 105
 - ▼ CLI を使用してゾーン構成を復元する 108

ゾーン構成のリセット 109

- ▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をリセットする 109
- ▼ CLI を使用してゾーン構成をリセットする 110

ゾーンのパスワードのリセット 111

- ▼ Web インタフェースを使用してゾーンのパスワードをリセットする 111
- ▼ CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする 112

索引 113

このマニュアルの使用法

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』では、Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) の修正版である、シャーシ管理モジュール (CMM) を使用して Sun Blade モジュラーシステムシャーシを管理する方法を説明しています。このマニュアル では、これを CMM ILOM と呼びます。

関連ドキュメント

Sun Blade モジュラーシステムのドキュメントセットについては、使用しているシス テムの付属ドキュメントで説明されています。

- Sun Blade 6000 モジュラーシステムのドキュメントの入手先 (820-1701)
- Sun Blade 6048 モジュラーシステムのドキュメントの入手先 (820-2311)

モジュラーシステムのドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

- Sun Blade 6000: http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6000mod
- Sun Blade 6048: http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6048mod

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic

一部のドキュメントの翻訳版は、次の Web サイトから入手できます。

http://docs.sun.com

ドキュメントの簡体字中国語、繁体字中国語、フランス語、日本語、韓国語の翻訳版 が入手可能です。

マニュアル、サポート、およびトレー ニング

次の Web サイトでは追加リソースが提供されています。

- マニュアル: http://docs.sun.com/
- サポート: http://www.sun.com/support/
- トレーニング: http://www.sun.com/training/

ドキュメントのコメント

このドキュメントに関するコメントは、次のサイトで「Feedback [+]」リンクをク リックしてお送りください。

http://docs.sun.com

ご意見をお寄せいただく際には、下記のタイトルとパーツ番号を記載してください。

『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド – Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』、Part No. 821-3083-10。

第1章

CMM ILOM の概要

Sun Blade 6000 モジュラーシステムのシャーシには最大 10 個のブレードが格納さ れ、Sun Blade 6048 モジュラーシステムのシャーシには最大 48 個のブレードが格納 されます。サポートされるブレードには、Sun Blade サーバーモジュールと Sun Blade ストレージモジュールがあります。

各サーバーモジュールには、固有の ILOM サービスプロセッサ (SP) がありますが、 これはシャーシ監視モジュール (CMM) ILOM からは独立したものです。CMM ILOM では、Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステムシャーシを 管理します。シャーシコンポーネントの管理、および個別のサーバーモジュール内の サービスプロセッサへのアクセスを可能にします。

CMM ILOM の操作は、コマンド行インタフェース (CLI) または Web インタフェー スで行います。

この節では、次の項目について説明します。

- 2ページの「CMM ILOM 機能の概要」
- 2ページの「ILOM のバージョン」
- 3ページの「CMM ILOM のドキュメント」
- 3ページの「このマニュアルについて」

CMM ILOM 機能の概要

CMM の ILOM は、個別のコンポーネントのシステム管理やシャーシレベルでの総合的なコンポーネント管理が可能な階層型の管理アーキテクチャーを備えています。

管理機能の概要は次のとおりです。

- サーバーモジュールの BMC 機能によってシャーシの環境センサーを認識可能にする IPMI サテライトコントローラの実装
- CLI、Web、SNMP、IPMIの各インタフェースによる環境およびインベントリの 直接管理
- CMM、ネットワークエクスプレスモジュール (NEM)、およびサーバーモジュー ルの SP のファームウェア管理
- コマンド行インタフェース (CLI)の SSH コンテキストに加え、サーバーモジュー ルおよび HTTP リンクのパススルー管理
- シャーシの電源制御
- 次のコンポーネントへのアクセス
 - シャーシ
 - 電源装置
 - ファン
 - Network Express Module (NEM)
 - サーバーモジュールの SP
- SAS-2 対応ストレージモジュールからシャーシ内の SAS-2 対応サーバーブレードへの、Sun Blade Zone Manager によるストレージデバイス割り当て。この機能はSun Blade 6000 シャーシでのみ使用可能です。

ILOM のバージョン

このドキュメントの ILOM に関する情報は、ILOM バージョン 3.x.x (ILOM 3.0.3 以降) に該当します。

ILOM 2.x については、次のドキュメントを参照してください。

ILOM 2.0 の各種マニュアル: http://docs.sun.com/app/docs/coll/ilom2.0

CMM ILOM のドキュメント

次のドキュメントは、CMM ILOM の機能性と使用方法について説明しています。

- Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアル ILOM 3.0 の機能と使用方法に関する総合的なドキュメントです。
- Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) CMM 管理ガイド Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム (本書) CMM ILOM 固有の ILOM の 機能性について説明しています。
- 『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足 Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』 CMM ILOM バージョン 3.x 固有の補足情報です。

Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の各種マニュアルは、次の Web サイトから入手できます。

http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic

Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステムのドキュメントは、次の Web サイトから入手できます。

Sun Blade 6000: http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6000mod

Sun Blade 6048: http://docs.sun.com/app/docs/prod/blade.6048mod

このマニュアルについて

このマニュアルでは、Sun Blade 6000 および Sun Blade 6048 モジュラーシステム 固有の管理作業について説明しています。説明されているトピックは次の表のとお りです。

CMM ILOM の初期設定を実行する	• 5 ページの「CMM ILOM の初期設定」
シャーシおよびコンポーネントの ファームウェアを更新する	• 25 ページの「ファームウェアの更新手順」
ILOM の電源管理機能を使用する	• 45 ページの「CMM の電力管理」
ストレージのゾーン構成を表示また は変更する	• 59 ページの「Sun Blade Zone Manager」

CMM ILOM の初期設定

この章では、CMM ILOM にアクセスし、初期設定を行う方法について説明します。

CMM ILOM への最初のアクセスは、シャーシの背面パネルにあるシリアルコネクタ または NET MGT 0 Ethernet コネクタから行います。

この章には、次の表で示されているように、CMM ILOM のセットアップについての 情報が含まれています。

説明	リンク
 CMM ILOM に接続し、CMM の IP アドレスを設定する	• 6 ページの「CMM ILOM への接続」
CMM ILOM への初回ログインを 行う	 17 ページの「ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン」
CMM の Ethernet ポートを有効に する	• 19 ページの「CMM の Ethernet ポートの有効化」
ブレードの CLI プロンプトを変更 する	• 22 ページの「ブレード SP CLI プロンプトの変更」

CMM ILOM への接続

初期ネットワーク構成情報を使用して CMM を設定するには、ILOM を使用して CMM への接続を確立する必要があります。CMM のシリアル管理 (SER MGT) ポー トを使用して ILOM へのローカル接続を確立することができます。また、ネット ワーク管理 (NET MGT) ポートを使用して ILOM へのリモート接続を確立することが できます (図 2-1 を参照)。





デフォルトでは、ネットワーク管理ポートを使用して ILOM への接続を確立すると、 ILOM は DHCP (IPv4) またはステートレス機構 (IPv6) を使用して CMM の IP アドレ スを自動的に取得します。CMM の NET MGT ポートへのネットワーク管理接続が確 立されていないと、ILOM が CMM の IP アドレスを取得できません。このため、シ リアル接続で ILOM に接続する必要があります。ILOM への接続を確立した後は、 CMM に割り当てられている IP アドレスを表示できます。また、必要に応じて、この IP アドレスを変更することも可能です。 次のステップ:

 CMM に割り当てられている IP アドレスが不明な場合は、2-7 ページの「シリア ル接続を使用した CMM ILOM への接続」を参照してください。

または

- CMM に割り当てられている IP アドレスが判明しており、CMM へのネットワー ク管理接続を確立している場合は、次のいずれかの節を参照して CMM の IP アド レスを表示または修正します。
 - 9ページの「IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定」
 - 11ページの「IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と 設定」

▼ シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続

CMM ILOM は、ターミナルエミュレーションソフトウェアを実行している端末また は PC をシャーシのシリアルコネクタに接続すれば、いつでもアクセスできます。

- 1. 端末、ノートパソコン、または端末サーバーが動作していることを確認します。
- その端末デバイスまたはターミナルエミュレーションソフトウェアを次のように 設定します。
 - 8N1: データビット 8、パリティなし、ストップビット 1
 - 9600 ボー
 - ソフトウェアのフローコントロール無効 (XON/XOFF)
- シリアルケーブルを使用してシャーシパネルのシリアルポート (SER MGT) を端 末デバイスに接続します。

注 – シリアルポートに接続するシリアルケーブルは、次の表に示すようにピンを割 り当てる必要があります。

ピン	信号の説明
1	送信要求 (RTS)
2	データ端末レディー (DTR)
3	送信データ (TXD)
4	アース
5	アース

ピン	信号の説明
6	受信データ (RXD)
7	データキャリア検出 (DCD)
8	送信可 (CTS)

4. 端末デバイスで Enter を押します。

これにより、端末デバイスと CMM ILOM の間で接続が確立されます。

注 – CMM ILOM の電源投入完了前、または電源投入シーケンス中に、端末またはエ ミュレータをシリアルポートに接続すると、起動メッセージが表示されます。

システムの起動が完了すると、CMM ILOM にログインプロンプトが表示されます。 <hostname> login:

- 5. CLI にログインします。
 - a. デフォルトのユーザー名 root を入力します。
 - b. デフォルトのパスワード changeme を入力します。

ログインに成功すると、CMM ILOM の次のデフォルトのコマンドプロンプトが 表示されます。

->

CMM ILOM は CLI を実行しています。CLI コマンドを実行できるようになりました。

次のステップ:次のいずれかの手順で、CMM ILOM の IP アドレスを表示または設定 します。

- 9ページの「IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定」
- 11 ページの「IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアドレスの表示と 設定」

▼ IPv4 ネットワークアドレスの表示および設定

1. リモート SSH 接続またはローカルシリアル接続を使用して、CMM ILOM にログ インします。

詳細については、次のいずれかの節を参照してください。

- 7ページの「シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続」
- 19 ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」

2. 次のいずれかのコマンドを入力して、作業用ディレクトリを設定します。

- シャーシ CMM の場合: cd /CMM/network
- シャーシブレードサーバーモジュールの場合: cd /SP/network
- show コマンドを入力して、IP アドレスのネットワークのプロパティーを表示します。
- DHCP または静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のいずれかを 実行します。
 - DHCP IPv4 のネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの 値を設定します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デ フォルトで enabled に設定されています。 注 – DHCP IPv4 ネットワークオプションを有 効にするには、state が enabled に設定さ れている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=dh	CP IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの値 はデフォルトで dhcp に設定されています。 注 - プロパティーのデフォルトの値 dhcp が static に変更されている場合は、このプロパ ティーの値を dhcp に戻す必要があります。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、 state および ipdiscovery プロパティーの 値に対して行った変更を確定します。

静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの値を設定 します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デ フォルトで enabled に設定されています。 注 – 静的 IPv4 ネットワークオプションを有 効にするには、state が enabled に設定さ れている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=static	静的 IPv4 ネットワーク構成の設定を有効に するには、pendingipdiscovery プロパ ティーの値を static に設定する必要があり ます。 注 – IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの 値はデフォルトで dhcp に設定されています。
pendingipaddress pendingipnetmask pendingipgateway	<pre>set pendingipaddress= pendingipnetmask= pendingipgateway= </pre> <pre> </pre>	複数の静的ネットワーク設定を割り当てる ためには、set コマンドの後に、各プロパ ティーの値 (IP address、netmask、gateway) の pending コマンドを入力してから、割り 当てる静的な値を入力します。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、 IPv4 ネットワークのプロパティーに対して 行った変更を確定します。

注 – リモート SSH 接続を使用して ILOM に接続した場合、以前の IP アドレスを使用 して確立された ILOM への接続はタイムアウトします。ILOM に接続するには、新し く割り当てた設定を使用します。

5. ネットワークテストツール (Ping) を使用して、ILOM から IPv4 ネットワーク構成をテストします。詳細は、2-16 ページの「IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト」を参照してください。

▼ IPv4/IPv6 デュアルスタックのネットワークアド レスの表示と設定

注 – ここでは、IPv4 と IPv6 のデュアルスタックネットワーク環境で動作するように ILOM を設定する手順について説明します。ILOM での IPv4/IPv6 デュアルスタック のサポートの詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

1. リモート SSH 接続またはローカルシリアル接続を使用して、CMM ILOM にログ インします。

詳細については、次のいずれかの節を参照してください。

- 7ページの「シリアル接続を使用した CMM ILOM への接続」
- 19 ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」
- 使用しているネットワーク環境に該当する、次のいずれかのネットワーク構成手順を行います。
 - IPv4 ネットワークを構成するには、次の手順 3 手順 5 の手順を行います。
 - IPv6 ネットワークを構成するには、次の手順 6 手順 10 の手順を行います。
- IPv4 ネットワークを構成するには、cd コマンドを使用してデバイスの作業用 ディレクトリ /x/network に移動します。 例:
 - シャーシ CMM の場合、cd /CMM/network と入力します。
 - シャーシのブレードサーバー SP の場合、cd /CH/BLn/network と入力します。
 - シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、 cd /CH/BLn/Noden/network と入力します。
- 4. show コマンドを入力して、デバイスで設定された IPv4 ネットワーク構成を表示 します。

- 5. DHCP または静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のいずれかを 実行します。
 - DHCP IPv4 のネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの 値を設定します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デ フォルトで enabled に設定されています。 注 – DHCP IPv4 ネットワークオプションを有 効にするには、state が enabled に設定さ れている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=dhcp	IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの値 はデフォルトで dhep に設定されています。 注 - プロパティーのデフォルトの値 dhep が static に変更されている場合は、このプロパ ティーの値を dhep に戻す必要があります。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、 state および ipdiscovery プロパティーの 値に対して行った変更を確定します。

■ 静的 IPv4 ネットワーク構成を設定するためには、次のプロパティーの値を設定 します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv4 では、ネットワークの state は、デ フォルトで enabled に設定されています。 注 – 静的 IPv4 ネットワークオプションを有 効にするには、state が enabled に設定さ れている必要があります。
pendingipdiscovery	set pendingipdiscovery=static	静的 IPv4 ネットワーク構成の設定を有効に するには、pendingipdiscovery プロパ ティーの値を static に設定する必要があり ます。 注 – IPv4 では、ipdiscovery プロパティーの 値はデフォルトで dhcp に設定されています。
pendingipaddress pendingipnetmask pendingipgateway	<pre>set pendingipaddress= <ip_address> pendingipnetmask= <netmask> pendingipgateway= <gateway></gateway></netmask></ip_address></pre>	複数の静的ネットワーク設定を割り当てる ためには、set コマンドの後に、各プロパ ティーの値 (IP address、netmask、gateway) の pending コマンドを入力してから、割り 当てる静的な値を入力します。
commitpending=	set commitpending=true	set commitpending=true と入力して、 IPv4 ネットワークのプロパティーに対して 行った変更を確定します。

- IPv6 ネットワークを構成するには、cd コマンドを使用してデバイスの作業用 ディレクトリ /x/network/ipv6 に移動します。 例:
 - シャーシ CMM の場合、cd /CMM/network/ipv6 と入力します。
 - シャーシのブレードサーバー SP の場合、cd /CH/BLn/network/ipv6 と入 力します。
 - シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、 cd /CH/BLn/Noden/network/ipv6 と入力します。
- show コマンドを入力して、デバイスで設定された IPv6 ネットワーク構成を表示 します。

次の例は、サーバーの SP デバイス上の IPv6 プロパティーを対象としたサンプル 出力の値です。

```
-> show
/SP/network/ipv6
Targets:
Properties:
   state = enabled
   autoconfig = stateless
   dhcpv6_server_duid = (none)
   link_local_ipaddress = fe80::214:4fff:feca:5f7e/64
   static_ipaddress = ::/128
   ipgateway = fe80::211:5dff:febe:5000/128
   pending_static_ipaddress = ::/128
   dynamic_ipaddress_1 = fec0:a:8:b7:214:4fff:feca:5f7e/64
Commands:
      cd
      show
```

注 – autoconfig= プロパティーが dhcpv6_stateful または dhcpv6_stateless に設定されている場合、dhcpv6_server_duid の読み取り専用のプロパティーは、 DHCP 情報を取得するために ILOM によって前回使用された DHCPv6 サーバーの DHCP 固有識別子を特定します。 注 – ILOM 3.0.14 (およびそれ以降) の IPv6 autoconfig プロパティーのデフォルト 値は autoconfig=stateless です。ただし、CMM またはサーバーモジュールに ILOM 3.0.12 がインストールされている場合には、autoconfig プロパティーのデ フォルト値は autoconfig=stateless_only と表示されます。

8. IPv6 自動設定オプションを設定するためには、set コマンドを使用して、次の 自動設定プロパティーの値を指定します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv6 では、ネットワークの state はデフォルトで enabled に設定されています。IPv6 自動設定オプションを有効にす るには、この state が enabled に設定されている必要があ ります。
autoconfig	<pre>set autoconfig=<value></value></pre>	このコマンドの後に、設定する autoconf の値を指定します。 オプションには、次のものがあります。
		 stateless (ILOM 3.0.14 またはそれ以降のデフォルト設定) または stateless_only (ILOM 3.0.12 のデフォルト設定) IPv6 ネットワークルーターから取得した IP アドレスを自動 的に割り当てます。 dhcpv6_stateless DHCP サーバーから取得した DNS 情報を自動的に割り当 てます。 プロパティーの値 dhcpv6_stateless は ILOM 3.0.14 以 降で使用できます。 dhcpv6_statefu1 DHCPv6 サーバーから取得した IPv6 アドレスを自動的に 割り当てます。 プロパティーの値 dhcpv6_stateful は ILOM 3.0.14 以
		降で使用できます。 disable すべての自動設定プロパティーの値を無効化し、リンク ローカルアドレスの読み取り専用のプロパティーの値を設定します。

注 – IPv6 設定オプションは、設定後に有効になります。/network ターゲットでこれらの変更を確定する必要はありません。

注 – デバイスへ取得した IPv6 自動設定アドレスは、デバイスへのアクティブな ILOM セッションには影響しません。新しく取得した自動設定アドレスは、 /network/ipv6 ターゲットで確認できます。 **注** – ILOM 3.0.14 以降、dhcpv6_stateless オプションまたは dhcpv6_stateful オプションを有効にしたとき、stateless 自動設定オプションも同時に有効にする ことが可能です。ただし、dhcpv6_stateless および dhcpv6_stateful 自動設 定オプションは同時に有効にすることはできません。

- 9. 次の手順を行って、静的 IPv6 アドレスを設定します。
 - a. 暫定的な静的 IPv6 アドレスを設定するためには、次のプロパティーの値を指定 します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
state	set state=enabled	IPv6 では、ネットワークの state はデフォルト で enabled に設定されています。静的 IP アド レスを有効にするためには、この state が enabled に設定されている必要があります。
pendingipaddress	<pre>set pending_static_ipaddress= <ip6_address>/<subnet bits="" in="" length="" mask=""></subnet></ip6_address></pre>	このコマンドの後に、静的な IPv6 アドレスのプ ロパティーの値とデバイスに割り当てるネット マスクを入力します。 IPv6 アドレスの例を次に示します。 fec0:a:8:b7:214:4fff:feca:5f7e/64

b. 暫定的な IPv6 の静的ネットワークパラメーターを確定 (保存) するためには、
 次の表の手順を行います。

手順	説明
1	 cd コマンドを使用して、ディレクトリをデバイスの network ターゲットに変更します。 例: シャーシ CMM の場合、cd /CMM/network と入力します。 シャーシのブレードサーバー SP の場合、cd /CH/BLn/network と入力します。 シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、cd /CH/BLn/Noden/network と入力します。
2	次のコマンドを入力して、変更した IPv6 プロパティーの値を確定します。 set commitpending=true

注 – 新しい静的 IP アドレスをデバイス (SP または CMM) に割り当てると、デバイス へのアクティブな ILOM セッションがすべて終了します。ILOM に再度ログインする ためには、新しく割り当てた IP アドレスを使用して新しいブラウザセッションを開始 する必要があります。 10. IPv4 または IPv6 ネットワーク構成を ILOM からテストするためには、ネット ワークテストツール (Ping および Ping6) を使用します。詳細は、2-16 ページの 「IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト」を参照してください。

▼ IPv4 または IPv6 ネットワーク構成のテスト

1. ILOM SP CLI または CMM CLI にログインします。

サーバー SP または CMM とのローカルシリアルコンソール接続または SSH 接続を確立します。

- 2. cd コマンドを使用してデバイスの作業用ディレクトリ /x/network/test に移動します。次に例を示します。
 - シャーシ CMM の場合、cd /CMM/network/test と入力します。
 - シャーシのブレードサーバー SP の場合、cd /CH/BLn/network/test と入 力します。
 - シャーシのブレードサーバーに複数の SP ノードがある場合、 cd /CH/BLn/Noden/network/test と入力します。
- 3. show コマンドを入力して、ネットワークの test ターゲットとプロパティーを 表示します。

次の例は、CMM デバイスの test ターゲットのプロパティーを示す出力です。

```
-> show
/CMM/network/test
Targets:
Properties:
    ping = (Cannot show property)
    ping6 = (Cannot show property)
Commands:
    cd
    set
    show
```

set ping コマンドまたは set ping6 コマンドを使用して、デバイスから指定したネットワーク上の宛先へネットワークテストを送信します。

プロパティー	プロパティーの設定値	説明
ping	set ping=< <i>IPv4_address</i> >	コマンドプロンプトで、set ping= コマンドの後に、 IPv4 テストの宛先のアドレスを入力します。 例: -> set ping=10.8.183.106 Ping of 10.8.183.106 succeeded
ping6	set ping6= <ipv6_address></ipv6_address>	set ping6= コマンドの後に、IPv6 テストの宛先の アドレスを入力します。 例: -> set ping6=fe80::211:5dff:febe:5000 Ping of fe80::211:5dff:febe:5000 succeeded

次のステップ:

- ILOM へのログインにネットワーク管理接続を使用していない場合は、17 ページの「ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン」を参照してください。
- このドキュメントまたは Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 の 各種マニュアルで説明されている CMM 管理タスクを実行します。

ネットワーク接続を使用した CMM ILOM へのログイン

この節では、ネットワーク接続を使用して CMM ILOM に初回ログインする手順について説明します。ILOM の設定の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入門ガイド』を参照してください。

この節では、次の手順について説明します。

- 18 ページの「Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのログイン」
- 19ページの「CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン」

▼ Web インタフェースを使用した ILOM 3.0 へのロ グイン

次の手順に従って、root ユーザーアカウントで ILOM の Web インタフェースへの 初回のログインを実行します。

- 1. Ethernet ケーブルを NETO Ethernet ポートに接続します。
- 2. Web ブラウザに http://system_ipaddress と入力します。

Web インタフェースのログインページが表示されます。

ABOUT	
Java	CMM Hostname: mpk12-2404-143-18 User Name: Password:
Other names may be trademarks of their respec	righte reserve u. Cracle and java are registered redemarks of Cracle and/or its annuates. Elve owners

- 3. 次のように、root ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。 ユーザー名: root パスワード: changeme
- Log In」をクリックします。
 Web インタフェースの「Version」ページが表示されます。

▼ CLI を使用した ILOM 3.0 へのログイン

ILOM CLI にはじめてログインする際は、SSH および root ユーザーアカウントを 使用します。

- 1. Ethernet ケーブルを NETO Ethernet ポートに接続します。
- 2. 次のように入力して、root ユーザーアカウントを使用して ILOM CLI にログイン します。
 - \$ ssh root@system_ipaddress

パスワード: changeme

ILOM CLI のプロンプト (->) が表示されます。

CMM の Ethernet ポートの有効化

デフォルトでは、CMM の Ethernet ポート 0 は有効になっています。CLI または Web インタフェースを使用して、ポート 1 または両方のポートを有効にすることが できます。



注意 – CMM の Ethernet ポートを両方とも有効にすると、Ethernet ネットワークで問 題が発生したり、外部ネットワークが停止したりする可能性があります。両方のポー トを有効にする前に、外部のスイッチがトランクモードをサポートしていることを確 認してください。アップストリームの Ethernet スイッチを正しく設定して、Ethernet のトラフィックのループが発生しないようにする必要があります。通常、この設定は スパニングツリーアルゴリズムを使用して行われます。

- ここで説明する手順の具体的な内容は次のとおりです。
- 20 ページの「Web インタフェースを使用した Ethernet ポートの有効化」
- 21 ページの「CLI を使用した Ethernet ポートの有効化」

▼ Web インタフェースを使用した Ethernet ポート の有効化

Web インタフェースを使用して Ethernet ポートを有効にする手順は、次のとおりです。

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 左のパネルから「CMM」をクリックします。
- 3. 「Configuration」-->「Network」を選択します。

	System	System System Information Monitoring			Storage	Configuration		User Management		Control	
Blade 0 Blade 8 Blade 9	System Management Access	Alert Management	Network	ONS	Serial Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP Client	Polic	
NEM D	Network Set	Network Settings									
	page. DHCP is the default mode, but you can manually configure each IP Address, Netmask, and Gateway. To change the network settings, select the radio button next to the appropriate component, then click Edit. The CMM Management Network switch setting can be configured above the table * Settings * Network Tools										
	page DHCP is the network settings, Network Switch se * Settings *	default mode, but select the radio b sting cao be conf Network Tools	t you can mai wton next to igured above	resses f nually co the appr the table	or Chassis M nfigure each ropnate com e	Ionitoring IP Addres panent, th	Modules and s. Netmask, a en click Edit	Service Proce nd Gateway. ⁻ The CMM Man	estors fr To chang nagemen	om this ge the t	
	page. DHCP is the network settings, Network Switch se * Settings * Settings	default mode, bu select the radio b sting can be confi Network Tools	t you can mai sidton next to igured above	resses f nually co the appr the table	or Chassis M nfigure each opriate com e	Ionitoring IP Addres ponent, th	Modules and s. Netmask, a en click Edic	Service Proce nd Gateway. The CMM Man	tstors fr To chang nagemen	om this ge the t	

- 「CMM Management Network Switch」ドロップダウンリストから、次のいずれ かを選択します。
 - Port 0 Active ポート 0 のみを有効にします。
 - Port 1 Active ポート1のみを有効にします。
 - Trunking (Link Aggregation) 両方のポートを有効にします。
- 5. 「Save (保存)」をクリックします。
- 6. CMM を取り外し、シャーシに再度取り付けます。

シャーシの CMM の取り外しおよび再装着の手順については、シャーシのサービ スマニュアルを参照してください。

これでアクティブなポートが更新されます。

▼ CLI を使用した Ethernet ポートの有効化

CLI を使用してポート1を有効にする手順は、次のとおりです。

- 1. ILOM CLI にログインします。
- 2. 次のように入力します。
 - -> cd /CMM/network
- show コマンドを入力して switchconf 変数の設定を表示します。
 例:

```
-> show
/CMM/network
    Targets:
    Properties:
        commitpending = (Cannot show property)
        ipaddress = 10.6.153.71
        ipdiscovery = dhcp
        ipgateway = 10.6.152.1
        ipnetmask = 255.255.252.0
        macaddress = 00:14:4F:6B:6F:C1
        pendingipaddress = 10.6.153.71
        pendingipdiscovery = dhcp
        pendingipgateway = 10.6.152.1
        pendingipnetmask = 255.255.252.0
        switchconf = port0
    Commands:
         сđ
         set
         show
```

この例では、switchconf 変数はポート0に設定されています。

- ポート1を有効にし、ポート0を無効にするためには、set switchconf= port1と入力します。
- ポート1を有効にし、ポート0も有効にしたままにするためには、set switchconf=trunkと入力します。
- 4. CMM を取り外し、シャーシに再度取り付けます。

シャーシの CMM の取り外しおよび再装着の手順については、シャーシのサービスマニュアルを参照してください。

これで、有効なポートが NET MGT ポート 1 または両方の NET MGT ポートになります。

ブレード SP CLI プロンプトの変更

CMM ソフトウェア 3.2 (ILOM 3.0.10) 以降、CMM を使用してサーバーブレード SP のデフォルトの CLI プロンプトを変更することができるようになりました。このプロンプトが使用されるのは、次のコマンドを実行して CMM からサーバーブレード SP に移動した場合です。

-> start /CH/BLn/SP/cli

-> プロンプトの代わりに、次のいずれかのデフォルトプロンプトが表示されます。

- [BLn/SP] -> (単一ノードのブレードの場合)
- [BLn/NODEn/SP] -> (複数ノードのブレードの場合)

注 – ノードとは、サーバーブレード上に存在する独立したコンピュータです。Sun Blade X6275 サーバーモジュールは、ブレードごとに 2 個のノードがあるブレードの 例です。

この機能を使用するためには、サーバーブレード SP で ILOM 3.0.9 以降が実行され ている必要があります。

ここで説明する手順の具体的な内容は次のとおりです。

- 22 ページの「ブレード SP CLI プロンプトの設定」
- 23 ページの「ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリセット」

▼ ブレード SP CLI プロンプトの設定

- 1. ILOM CLI にログインします。
- 次のいずれかのコマンドを使用して、サーバーブレードのデフォルトの CLI プロンプトを変更します。
 - 単一ノードのブレードの場合: set /CH/BLn/SP/cli prompt="newprompt"
 - ノードが2個のブレードの場合:set /CH/BLn/NODEn/SP/cli prompt= "newprompt"

ここでは、*newprompt* は新しいプロンプトに設定する値です。 たとえば、ブレード SP プロンプトを「blade SP」に設定する場合、BL0 では 次のコマンドを実行します。

-> set /CH/BL0/SP/cli prompt="blade SP"

▼ ブレード SP CLI プロンプトのデフォルトへのリ セット

 ブレード SP の CLI プロンプトをデフォルト以外に変更した場合、デフォルトの プロンプトに戻すには、次のコマンドを実行します。

-> set /CH/BLn/SP/cli prompt=""

第3章

ファームウェアの更新手順

この章には、次の表で示されているように、システムファームウェアの更新について の情報が含まれています。

	リンク
 CMM ILOM ファームウェアを更新する	• 25 ページの「CMM ILOM ファームウェアの 更新」
NEM ファームウェアを更新する	• 33 ページの「NEM のファームウェアの更新」
シャーシのコンポーネントのファーム ウェアを更新する	 39 ページの「CMM を使用したシャーシコン ポーネントのファームウェアの更新」
CMM をリセットする	 39 ページの「CMM を使用したシャーシコン ポーネントのファームウェアの更新」

CMM ILOM ファームウェアの更新

この情報は、次の ILOM 3.0 の各種マニュアルで詳しく説明されています。

http://docs.sun.com/app/docs/prod/int.lights.mgr30#hic

順番に、次の節を参照してください。

- 1. CMM の IP アドレスを取得します。26 ページの「CMM の IP アドレスの 取得」を参照してください。
- 2. CMM にログオンして、使用しているファームウェアのバージョンを確認します。 26ページの「現在のファームウェアバージョンの確認」を参照してください。
- 3. ILOM を使用して、新しいバージョンのファームウェアをダウンロードします。 29 ページの「ファームウェアのファイルのダウンロード」を参照してください。

- 4. ILOM を使用して、新しいファームウェアをインストールします。30 ページの 「ILOM ファームウェアの更新」を参照してください。
- 5. CMM をリセットします。39 ページの「CMM を使用したシャーシコンポーネントのファームウェアの更新」を参照してください。

注 – ILOM の設定をバックアップおよび復元する方法については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』または 『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してく ださい。

CMM の IP アドレスの取得

CMM ILOM にアクセスするには、CMM の IP アドレスを使用する必要があります。 CMM の IP アドレスがわからない場合は、確認する必要があります。

CMM の IP アドレスを確認する手順については、6 ページの「CMM ILOM への 接続」を参照してください。

現在のファームウェアバージョンの確認

この節では、現在のファームウェアのバージョンを確認する3つの手順を説明します。

- 27 ページの「Web インタフェースを使用してファームウェアのバージョンを 確認する」
- 28 ページの「管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェアのバー ジョンを確認する」
- 29 ページの「シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する」
▼ Web インタフェースを使用してファームウェアのバー ジョンを確認する

 ブラウザのアドレスフィールドにサーバーの CMM の IP アドレスを入力して、 ILOM Web インタフェースに接続します。 例:

https://129.146.53.150

2. ILOM Web インタフェースにログインします。

Chassis In	ventory		
Chassis In Component	ventory	Part Number	Serial Number
Chassis In Component /OH	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM	Part Number 541-3789-01	Serial Number
Chassis In Component /CH /CH/CMM	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM -	Part Number 541-3789-01	Serial Number
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BL0	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD,X62SD	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03	Serial Number DD000000-0000000000
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BL0 /CH/BL1	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY.8D.X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02	Serial Number DD00000-0000000000 - - D0000000
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BLD /CH/BLD /CH/BLB	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD.X625D SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2	Serial Number DD000DD-00DD000DD0 - - 00000DD0 D923FM1013
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BLD /CH/BLD /CH/BL3 /CH/BL3	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY.BD.X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE Sun Blade X6250 Server Module	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01	Serial Number DD000DD-00D0000000 - - 00000000 D923FM1013 D841QAW048
Chassis In Component /CH /CH/RL0 /CH/BL0 /CH/BL1 /CH/BL8 /CH/BL9 /CH/NEMD	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD.X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE SUN BLADE X6270 SERVER MODULE SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI- FABRIC 10GE NEM M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01 540-7961-02	Serial Number DD000D0-0000000000 - - 00000000 D923FM1013 D841QAW048 -

- 3. シャーシのナビゲーション区画の左角で「CMM」をクリックします。
- 4. 「System Information」-->「Versions」の順にクリックします。

「Versions」ページが表示されます。それにはファームウェアのバージョンとビ ルド番号が含まれています。

NM.	System Information	System Manitoring	Power Management	Storage	Configura	tion	User Management	t Control	Maintenance
ade 0	Overview	Components	Fault Management	Identification	information	Bann	er Messages	Session Timeout	Versions
de s	Versions								
10	View the version (of LOM firmware	e currently in use						
Ĉ.	Version Info	rmation	~						
	Version Info Property	ermation	Value	-	-		_	_	
	Version Info Property CMM Firmware	version	Value 5 0 10 15	_	_		_	_	
	Version Info Property CMM Fermane CMM Fermane	Version	Value 8 0 10 15 15335		-		_		-

▼ 管理 Ethernet ポートの CLI を使用してファームウェア のバージョンを確認する

この手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 入 門ガイド』を参照してください。

- 1. ILOM CLI にログインします。
- 2. version コマンドを入力します。入力すると、次のような出力が返されます。

-> version

- CMM firmware 3.0.10.15
- CMM firmware build number: 55335
- CMM firmware date: Thu Apr 22 19:41:07 EDT 2010
- CMM filesystem version: 0.1.22

ILOM (CMM) ファームウェアのバージョンとビルド番号が出力に一覧表示されます。

▼ シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアの バージョンを確認する

- 端末デバイス、またはラップトップか PC で稼働しているターミナルエミュレー ションソフトウェアを次のように設定します。
 - 8N1: データビット 8、パリティなし、ストップビット1
 - 9600 ボー
 - ハードウェアのフローコントロール無効 (CTS/RTS)
 - ソフトウェアのフローコントロール無効 (XON/XOFF)
- CMM の RJ-45 SER MGT ポートに取り付けられたシリアルケーブルを、端末デ バイスまたは PC に接続します。
- 3. 端末デバイス上で Enter を押して、端末デバイスと CMM 間の接続を確立します。 CMM にログインプロンプトが表示されます。

<hostname> login:

hostname は、SUNCMM の後に製品のシリアル番号が続く場合、もしくは DHCP で ホスト名を有効にしている場合は、割り当て済みのホスト名となります。

 ILOM CMM にログインして、デフォルトのユーザー名 (root) とデフォルトのパ スワード (changeme) を入力します。
 ログインに成功すると、CMM に次のデフォルトのコマンドプロンプトが表示さ

れます。

->

- 5. version コマンドを入力します。入力すると、次のような出力が返されます。 -> version
 - CMM firmware version: 3.0.3.32
 - CMM firmware build number: 42331
 - CMM firmware date: Wed Feb 18 11:46:55 PST 2009
 - CMM filesystem version: 0.1.22

ILOM ファームウェアのバージョンとビルド番号が出力に一覧表示されます。

ファームウェアのファイルのダウンロード

次の手順では、ILOM ファームウェアを Web サイトからダウンロードする方法を 説明します。

▼ ファームウェアのファイルのダウンロード

次の手順に従って、フラッシュイメージの.ima ファイルをダウンロードします。

- Oracle Web サイト (http://www.oracle.com/jp/products/ servers-storage/servers/blades/index.html) を参照します。
- Sun Blade 6000 モジュラーシステムまたは Sun Blade 6048 モジュラーシステム のページに移動します。
- ダウンロードするファームウェアのバージョンのダウンロードリンクをクリック します。
- ユーザー名とパスワードを入力します。
 ユーザー名とパスワードを持っていない場合、「Register Now」をクリックする ことで、無料でユーザー登録ができます。
- 5. 「Accept License Agreement (使用許諾契約書に同意する)」をクリックします。
- 6. 適切なファームウェアのイメージファイル名をクリックします。

ILOM-version-Sun_Blade_6000.ima または ILOM-version-Sun_Blade_6048.ima 例: ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6048.ima または ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6000.ima

ILOM ファームウェアの更新



注意 – ILOM は、特別なモードに入って、新しいファームウェアをロードします。 ILOM では、ファームウェアのアップグレードが完了して ILOM がリセットされる まで、他のタスクを実行できません。

これは、既存のイメージを、事前にダウンロードした.imaファイルの新しいイメージで置き換えて、実際にファームウェアを更新する手順です。

この節では、ILOM/BIOS ファームウェアを更新する次の2つの方法について説明します。

- 31 ページの「Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを更新する」
- 32 ページの「CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する」

▼ Web インタフェースを使用して ILOM ファームウェアを 更新する

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Maintenance」-->「Firmware Upgrade」の順にクリックします。



「Enter Upgrade Mode (アップグレードモードに切り替え)」ボタンをクリックします。

「Upgrade Verification」ダイアログが表示され、更新プロセスが完了するとログ インしているほかのユーザーのセッションが切断されることが通知されます。

4. 「Upgrade Verification」ダイアログで、「OK」をクリックして続行します。

「Firmware Upgrade」ページが表示されます。

Chassis	Firmware Upgrade
CMM Blade 0 Blade 9 Blade 9 NEM 0 NEM 1	The Chassis Montoning Module is how in Upgrade mode. Please specify the filenume of the Firmware image that you want to load. Circli on the 'Browse' button will allow you to select the firmware image file. Once you do that, circle on the Upload 'button to upload the image file to the Chassis Montoning Module. Select image file to upload. Browse

- 5. フラッシュイメージファイルを参照します。
- 6. 「Upload」ボタンをクリックします。

ファイルがアップロードされ検証されるまで待ちます。

「Firmware Verification」ページが表示されます。

7. (省略可能)「Firmware Verification」ページで、「Preserve Configuration」を有効 にします。

ILOM の既存の設定を保存し更新プロセスの完了後に復元する場合は、このオプションを有効にします。

8. 「Start Upgrade」をクリックしてアップグレードプロセスを開始するか、 「Exit」をクリックしてプロセスを取り消します。

「Start Upgrade」をクリックすると、アップグレードプロセスが開始され、プロ セスの続行を確認するプロンプトが表示されます。

9. プロンプトで「OK」をクリックして続行します。

「Update Status」ページが表示され、更新処理の進捗状況が表示されます。更新の進捗状況が 100% を示すと、ファームウェアの更新は完了です。 更新が完了すると、システムが自動的に再起動します。

注 – 更新の完了後、ILOM の Web インタフェースが正しく再表示されないことがあ ります。ILOM Web インタフェースで情報が欠落している場合やエラーメッセージ が表示される場合は、更新前のバージョンから、そのページのキャッシュされている バージョンを表示している必要があります。ブラウザのキャッシュをクリアしてブラ ウザを再表示してから、続行してください。

- 10. CMM ILOM Web インタフェースに再接続します。
- 「System Information」-->「Version」を選択して、CMM のファームウェアの バージョンが、インストールしたファームウェアイメージのバージョンと一致す ることを確認します。

注 – ファームウェアの更新前に ILOM 設定を保存しなかった場合、初期 ILOM セットアップ手順を実行して ILOM に再接続する必要があります。

▼ CLI を使用して ILOM ファームウェアを更新する

- 管理 Ethernet ポートまたはシリアル管理ポートから ILOM CLI にログインします。
 管理 Ethernet ポートについて: 28 ページの「管理 Ethernet ポートの CLI を使用 してファームウェアのバージョンを確認する」を参照してください。
 シリアル管理ポートについて: 29 ページの「シリアル管理ポートの CLI を使用してファームウェアのバージョンを確認する」を参照してください。
- 2. ILOM CLI で、次のコマンドを使用します。

-> load -source tftp://tftpserver/ILOM-version-Sun_Blade_60x0.ima

ここでは、*tftpserver* は更新がある簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) サーバー で、ILOM-*version*-Sun_Blade_60x0.ima はファームウェアのイメージファイル です。次に例を示します。

Sun Blade 6000 の場合: ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6000.ima または

Sun Blade 6048 の場合: ILOM-3_0_10_15-Sun_Blade_6048.ima

NEM のファームウェアの更新

ILOM 3.0.9 以降、一部の Oracle モジュラーシャーシシステムで ILOM のファーム ウェアの機能が拡張され、Network Express Module (NEM) のファームウェアの更新 がサポートされています。3.0.9 以前は、ILOM から NEM のファームウェアを更新 することはサポートされていませんでした。

NEM のファームウェアの更新は、ILOM CLI または Web インタフェースで直接行う ことができます。ファームウェアパッケージを NEM にアップロードするためにサ ポートされているファイル転送方式は次のとおりです。

- TFTP HTTPS
- FTP SFTP
- SCP Browser*
- HTTP

注 - * Browser でのローカルファイル転送は ILOM Web インタフェースでのみ使用できます。

ILOM の Web インタフェースまたは CLI から NEM のファームウェアを更新する方 法の詳細については、次の項目を参照してください。

- 33 ページの「インストールを開始する前に」
- 34 ページの「CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する」
- 37 ページの「Web インタフェースを使用して NEM のファームウェアを更新 する」

インストールを開始する前に

- NEM のベンダー製品のダウンロード Web サイトから、ILOM からアクセスできるネットワーク上のシステムに、NEM のファームウェアの更新パッケージをダウンロードします。
- NEM のファームウェアを ILOM で更新するためには、Admin (a) の役割を有効にす る必要があります。

▼ CLI を使用して NEM のファームウェアを更新する

- 1. ILOM CMM CLI にログインします。
- cd コマンドを使用して、ファームウェアの更新が必要な NEM に移動します。
 例:
 - cd /SYS/NEM#

ここでは、# はシャーシ内で NEM が設置されている、スロットの場所です。 シャーシシステムが複数の NEM をサポートしておらず、サポートされている NEM が 1 台である場合、NEM の場所は 0 と等しいはずです。この場合は、次の ように入力します。

cd /SYS/NEM0

3. show コマンドを入力して、NEM のプロパティーと、NEM に現在インストール されているファームウェアのバージョンを表示します。

たとえば、次の Sun Fire 4800 システムについての NEM の show プロパティー出 力を参照してください。

注 - プロパティーフィールド fru_extra_1= は NEM に現在インストールされているファームウェアのバージョンを示しています。

```
-> cd /SYS/NEM0
/SYS/NEM0
-> show
 /SYS/NEM0
    Targets:
        PRSNT
        STATE
        ERR
        OK
        SERVICE
        OK2RM
        LOCATE
    Properties:
        type = Network Express Module
        ipmi_name = NEM0
        fru_manufacturer = VENDOR_Name
        fru_part_number = 511-1056-04
        fru_extra_1 = FW 5.3.1.0
        fault_state = OK
        load_uri = (none)
        clear_fault_action = (none)
        power_state = On
    Commands:
        cđ
        load
        reset
        set
        show
        start
        stop
```

4. load コマンドを使用して、NEM でファームウェア更新パッケージのアップロー ドとインストールを行います。

たとえば、次のように入力します。

load_uri=uri

ここでは、uriは URIの転送方式とファームウェアパッケージの場所です。

次の、サポートされる各ファイル転送方式の CLI load コマンドの例を参照して ください。

転送方法	CLIの load コマンドの例
TFTP	<pre>load_uri=tftp://ip_address/rom_nem.pkg</pre>
FTP	<pre>load_uri=ftp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</pre>
SCP	<pre>load_uri=scp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</pre>
HTTP	<pre>load_uri=http://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</pre>
HTTPS	<pre>load_uri=https://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</pre>
SFTP	<pre>load_uri=sftp://username:password@ip_address/rom_nem.pkg</pre>

各表記の意味は次のとおりです。

- *ip_address* は、ファイルが格納されているシステムの IP アドレスです。
- username は、ファイルが格納されているシステムのログインユーザ名です。
- password は、ファイルが格納されているシステムのログインパスワードです。
- rom_nem.pkg は、ファームウェアの更新パッケージの名前です。

HTTP と HTTPS については、ユーザー名とパスワードが省略可能です。

注 – このほかに、ILOM CLI で set および load コマンドを使用して、NEM の場所 のパスと、アップロードするファームウェアの更新パッケージの場所を指定すること もできます。例: set /SYS/NEM#/load_uri=uri

5. ファームウェアの更新処理が完了したことが ILOM で確認されるまで少し待ち ます。

成功または失敗を示す状態が表示されます。

6. show コマンドを使用して、NEM にインストールされているファームウェアの バージョンを表示して確認します。

▼ Web インタフェースを使用して NEM のファーム ウェアを更新する

- 1. ILOM CMM の Web インタフェースにログインします。
- ILOM の Web インタフェースで、「System Information」-->「Components」 タブの順にクリックします。

「Components」ページが表示されます。

Com	ponent Status	
<u> </u>	ctions — 💌 Filter: All Components 💌 📑 🐏 🗖	
8	Component Name	Туре
-	/SYS	Host System
-	/SYS/SP	Service Processor
-	/SYS/SP/MB	Motherboard
-	/SYS/NET0	Network Interface
	/SYS/MIDPLANE	Power Distribution Board
۲	/SYS/NEMO	Network Express Module
	/SYS/FM0	Rear Fan Module
	/SYS/FM1	Rear Fan Module
-	/SYS/FM2	Rear Fan Module
-	/SYS/FM3	Rear Fan Module
-	/SYS/PS0	Power Supply FRU
	/SYS/PS1	Power Supply FRU
-	/SYS/PS2	Power Supply FRU
-	/SYS/PS3	Power Supply FRU
-	/SYS/DBP	Disk Backplane
-	/SYS/DBP/HDD0	Hard Disk Module

- 3. 「Component Status」表で、次の手順を行います。
 - a. 更新する NEM のラジオボタンを選択します。
 - b. 「Component Name」列に表示されている NEM の名前をクリックして、 NEM に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示し、 「Close」をクリックしてダイアログを閉じます。
 - c. 「Actions」ドロップダウンリストボックスで、「Update Firmware」を選択して NEM のファームウェアの更新処理を開始します。

「Upload Firmware」ダイアログが表示されます。

To update this component select the desired Transfer Protocol and fill in the appropriate fields.	
Component: /SYS/NEM0	
Current Version: (unknown)	
Upload	
Transfer Method: Browser	
Select File: Browse	
	Update Close

- 4. 「Upload Firmware」ダイアログで、次の手順を行います。
 - a. 「Upload」の「Transfer Method」をドロップダウンリストボックスで選択します。
 - b. 選択した転送方式の必須フィールドに対して、次のように指定します。

転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
Browser	Select File	「Browse」ボタンを使用して、 NEM のファームウェアの更新 パッケージの場所を指定します。
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、TFTP、SFTP	Host	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されているホス トシステムの IP アドレスを指定 します。

転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、TFTP、SFTP	Filepath	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されている場所 への絶対パスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、SFTP	Username	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されているシス テムのログインユーザー名を指定 します。
FTP、SCP、HTTP、 HTTPS、SFTP	Password	NEM のファームウェアの更新 パッケージが格納されているシス テムのログインパスワードを指定 します。

5. ファームウェアの更新処理が完了したことが ILOM で確認されるまで少し待ち ます。

成功または失敗を示す状態が「Upload Firmware」ダイアログに表示されます。

CMM を使用したシャーシコンポーネン トのファームウェアの更新

ILOM 3.0.10 以降、CMM ILOM には、次のシャーシコンポーネントでインストール されているファームウェアのバージョンを表示したり、ファームウェアの更新を開始 したりするための一元化されたユーザーインタフェースが用意されています。

- ストレージブレード
- CPU ブレード
- Network Express Module (NEM): すべての NEM にファームウェアがあるわけではありません。NEM のドキュメントで、NEM にファームウェアがあるかどうかを確認してください。NEM のファームウェアを更新する詳しい手順については、33 ページの「NEM のファームウェアの更新」を参照してください。

このファームウェア更新ツールを使用するには、事前に、Sun Blade 6000 モジュラー システムソフトウェアのリリース 3.2 とともに Oracle のダウンロードサイトで入手 可能である、CMM ILOM バージョン 3.0.10 を CMM にインストールする必要があり ます。サーバーモジュール (ブレード) では、ILOM 2.x またそれ以降が実行されてい る必要があります。

次の2つの方法で、ILOM ファームウェアを更新できます。

- 40 ページの「Web インタフェースを使用して ファームウェアを更新する」
- 42 ページの「CLI を使用してファームウェアを更新する」

▼ Web インタフェースを使用して ファームウェアを 更新する

- 必要なファームウェアを Oracle のソフトウェアダウンロードサイト (http://www.oracle.com/jp/products/servers-storage/servers/ blades/index.html) からダウンロードします。
 - a. 更新するブレードまたは NEM のページを検索します。
 - b. 最新のファームウェアパッケージをダウンロードし、それをネットワークでア クセス可能なフォルダに展開します。
- 2. 管理者権限を持つ任意のユーザーで CMM ILOM にログインします。
- 3. 「Chassis」ナビゲーション区画で、「CMM」をクリックします。
- 4. 「System Information」-->「Components」を選択します。
- 5. ファームウェアを更新するコンポーネントを選択します。

(/CH/BL0 など)。

📾 Chassis	System	Suctain	Power			liner	Remote	
CMM	Information	Monitoring	Management	Storage	Configurati	on Management	Control	Maintenance
Blade D	Overview	Components	Fault Management	Identification	Information	Banner Messages	Session Timeout	Versions
Blade 9	Component	Manageme	nt					
NEM 1	component, select buttons cannot be LED. To view furth Component	t the radio buttor modified Choos er details, click o Status	nest to that componing the Prepare to Ron n a Component Name	ent, then choo emove action i t	se an option fro huts down the s	m the Action drop down elected component and	h Est. Components d'Eghts its blue Re	without radio ady to Remove
	Compone	nt Name	Type		Fault S	tatus Ready	to Remove Stat	UK .
	- /CH		Chassis		OK.	+		
	- /CH/CMM		Chassis Montorin	g Mockile	200	2 (#)		
	- VOHOMMISH	P.)	Service Processo	r	-	1 C		-
	< /CHUCHINANA	UTD	Network Interface		+			
	CHIMIDPLA	NE	Power Distribution	i Board	-	+		
	⊙ \OHIBLO		Slade FRU		OK.	-		
	O /CH/BL1		Blade FRU		Faulted	+		

6. 「Actions」ドロップダウンメニューから「Update Firmware」を選択します。 ダイアログボックスが表示されます。

appropriate fields.	ent select the o	esireo transfer	Protocol and mini	i trie
Component: /0	H/BLO			
Current Version: (u	nknown)			
Upload Transfer Method: Browser				
Select File:				Browse

- 7. 使用する転送方式を「Transfer Method」フィールドから選択します。
- 8. 選択した転送方式の必須フィールドに入力します。

1.0

転送方式のオプション	必須フィールド	指示書
Browser	Select File	「Browse」ボタンを使用して、NEM の ファームウェアの更新パッケージの場所を 指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、 TFTP、SFTP	Host	NEM のファームウェアの更新パッケージ が格納されているホストシステムの IP アド レスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、 TFTP、SFTP	Filepath	NEM のファームウェア更新パッケージが格 納されている場所の絶対パスを指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、 SFTP	Username	NEM のファームウェアの更新パッケージ が格納されているシステムのログインユー ザー名を指定します。
FTP、SCP、HTTP、HTTPS、 SFTP	Password	NEM のファームウェアの更新パッケージ が格納されているシステムのログインパス ワードを指定します。

9. 「Update (アップデート)」をクリックします。

ファームウェアの更新処理は数分かかる可能性があります。成功または失敗を示す状態が「Upload Firmware」ダイアログに表示されます。

▼ CLI を使用してファームウェアを更新する

- 必要なファームウェアを Oracle のソフトウェアダウンロードサイト (http://www.oracle.com/jp/products/servers-storage/servers/ blades/index.html) からダウンロードします。
- 2. 更新するブレードまたは NEM のページを検索します。
- 最新のファームウェアパッケージをダウンロードし、それをネットワークでアク セス可能なフォルダに展開します。
- 4. ネットワークに接続した端末から、次のコマンドを入力して root ユーザーアカ ウントを使用し、CMM ILOM の CLI にログインします。
 \$ ssh root@cmm_ipaddress
 ここでは、cmm_ipaddress は CMM ILOM の IP アドレスです。
- パスワードを入力します。デフォルトでは changeme です。
 ILOM CLI のプロンプトが表示されます。
 ->
- アップグレードするブレードまたは NEM が含まれているブレードスロットに ディレクトリを変更します。

-> cd /CH/BLn

または

-> cd /CH/NEMn

ここでは、BLn はアップグレードするブレードのシャーシブレードスロットの番号 であり、NEMn はアップグレードする NEM です。

7. 以下のコマンドを入力します。

-> **load** -source transfer_method://transfer_server_ipaddress/firmware-version.pkg

各エントリの内容は次のとおりです。

- transfer_method は、次のいずれかです。FTP、SCP、HTTP、HTTPS、TFTP、 SFTP。
- transfer_server_ipaddress は、イメージファイルをコピーした転送サーバーのドメイン名または IP アドレスです。
- *firmware-version* は、.pkg ファイルの名前です。

処理が完了したら、正しいバージョンのファームウェアがインストールされたことを確認します。以下のコマンドを入力します。

```
-> version /CH/BLn
```

または

```
-> version /CH/NEMn
```

ここでは、BLn はアップグレードしたブレードのシャーシスロットの番号であり、 NEMn はアップグレードした NEM です。

CMM のリセット

この節のいずれの手順も使用できない場合は、CMM をシャーシから取り外し、再度 取り付けて CMM をリセットすることができます。

CMM の取り外しおよび再度取り付ける方法については、『Sun Blade 6000 モジュ ラーシステムサービスマニュアル』または『Sun Blade 6048 モジュラーシステムサー ビスマニュアル』を参照してください。

この節では、次の手順について説明します。

- 43 ページの「Web インタフェースを使用して CMM をリセットする」
- 44 ページの「CLI を使用して CMM をリセットする」

▼ Web インタフェースを使用して CMM をリセッ トする

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Maintenance」-->「Reset Components」の順にクリックします。
- 3. 「/CH/CMM」を選択し、「Reset」をクリックします。

Chassis CHASSIS	System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote	Maintenance
Blade 0	Firmware Upgra	ide Backup/R	estore Configur	abon Manageme	nt Reset Compr	onento Snapsho	¢	
Blade 9	CMM/SP Res	et						
NEM 1	Reset Chassis Mor Resetting will disc network connectiv	storing Modules ; annect your curre ity may be intern et	nd Service Process Int 8.0M session. Yo pled	ors on this page u must log in aga	Select the racio to in to continue work	don next to a comp ing in LCM. When n	onent, thes cl setting an SP;	ck Reset that blade's
	Reset							
	I Name							
	O JOHOMM							
	O /OVBLIDSF							
	O /O48L9/5F							

▼ CLI を使用して CMM をリセットする

- 1. ILOM CLI にログインします。
- 2. ILOM CLI で、次のコマンドを入力します。
 - -> reset /CMM

第4章

CMM の電力管理

この章には、Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 の CMM および ILOM 3.x に固有の、 ILOM の電力管理に関する情報が含まれています。

電力管理については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

この章には、次の表に示されている情報が含まれています。

説明	リンク
Light Load Efficiency Mode (LLEM) を有効または無効にする	• 46 ページの「軽負荷効率モード (LLEM)」
電源装置のファンを低速にする	• 50 ページの「電源装置のファン速度を調整する」
電力管理を無効にする	• 51 ページの「電力管理ポリシーの無効化」
Sun Blade 6048 モジュラーシステ ムの特定のケースにおける ILOM の読み取りについて学習する	 53 ページの「Sun Blade 6048 の特定の場合にお ける ILOM 3.0」

軽負荷効率モード (LLEM)

Light Load Efficiency Mode (LLEM) は CMM ILOM 3.0.6.11 の新機能です。

この節では次の内容について説明します。

- 46 ページの「LLEM について」
- 46 ページの「Web インタフェースを使用した LLEM の設定」
- 48 ページの「CLI を使用した LLEM の設定」

LLEM について

LLEM のもとでは、CMM が効率向上のため、使用する電力を監視し、自動的に電源 ユニット (PSU) の各サイドをシャットダウンします。LLEM は、有効な場合は冗長 モード、非冗長モードのどちらでも実行されます。

CMM は、常に降順で PSU サイドを無効にします。電力負荷レベルが高まると、 CMM は、無効にしたサイドを再度有効にして需要に対応します。新たなブレードが シャーシに挿入された場合、電力割当量が、現在電力がオンになっているサイドから 使用できる電力を超えているときでも、そのブレードの電力をオンにすることができ ます。

予期しない AC 障害が発生した場合は、LLEM が一時停止され、すべてのサイドが有効 になります。これは、センサーの値 I_V12 および V_OUT_OK によって確認できます。 障害が解消すると、自動的に、設定されている LLEM ポリシーが再実行されます。

LLEM が無効になると、以前無効にしたものも含めて、すべての PSU サイドが有効に なります。これは、センサーの値 I_V12 および V_OUT_OK によって確認できます。

ILOM の電力管理機能については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 概念ガイド』を参照してください。

Web インタフェースを使用した LLEM の設定

この節では、次の手順について説明します。

- 47 ページの「Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効にする」
- 48 ページの「Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または無効に する」

▼ Web インタフェースを使用して LLEM を有効または無効 にする

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
- 3. 「Configuration」-->「Policy」ページに移動します。

CMM		System Information	System Monitoring	Potter Manag	ement	Storage	Configu	ration	User Management	Contro	Maint	tenance
Black 0 Black 0	1	System Manage Access	ment Alert Mari	igement	Networ	rk DNS	Senal Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP Client	Policy
Blacke 9 MEM D	P	Policy Confi	guration									
NEM'S	100	onfigure system le Action drop do	policies from the swn list.	s page. To r	odły a po	licy, select th	e radio bett	on hext to	that policy, then c	hoose Erabl	ie or Disable	tran.
	1.00	A DESCRIPTION OF A DESC	CONTRACT INCOME IN A DESCRIPTION OF	Contraction and the	Server Lawrence							_
	1	Chassis Mor	itoring Mod	ale Polici	85				_	_	_	
	ł	Chassis Mor Attors	litoring Mod	ale Polici	es	-	-	-	_	-		
		Chassis Mor Actors • Descriptio	hitoring Mod 	ale Polici	es	-	-			-	Status	
		Chassis Mor Attors • Descriptio Upt Load E	litoring Mod n ficiercy Node	ale Polici	*5				_		Status	d
		Chassis Mor - Actors - • Descriptio Light Load E O Montor Pow	litering Mod ficiercy Mode re Supply 0 Side	ale Polici	es 7						Status Disables Enabled	d
		Chassis Mor - Attors - • Descriptio Light Load E O Montor Pow O Montor Pow	Horing Mod I ficency Mode er Supply O Sid er Supply O Sid	ole Polici : 0 for powe : 1 for powe	es r r						Status Disables Enabled Enabled	d
		Chassis Mor - Athons - * Descriptio Light Load E O Montor Fow O Manitor Fow O Manitor Fow	Atoring Mod i n ficiency Node ver Supply 0 Skil ver Supply 0 Skil ver Supply 1 Skil	ole Polici 0 for powe 1 for powe	ө5 r r						Status Disables Enabled Enabled Enabled	d L
		Chassis Mor - Athons - * Descriptio Light Load E O Montor Pow O Montor Pow O Montor Pow O Montor Pow O Montor Pow	Atoring Mod i n ficency Node ver Supply 0 Skil ver Supply 1 Skil ver Supply 1 Skil ver Supply 1 Skil	ole Polici 0 for powe 1 for powe 0 for powe	е5 r r r						Status Disables Enabled Enabled Enabled Enabled	
		Chassis Mor - Actoris - * Descriptio C Light Load E O Mantor Fow O Mantor Fow	Ntoring Mod n ficency Node er Supply 0 Side er Supply 0 Side er Supply 1 Side er Supply 1 Side Door installed	ole Polici 0 for powe 1 for powe 0 for powe 1 for powe	95 7 7 7						Status Disables Enabled Enabled Enabled Enabled Enabled	d I I

- 4. 「Light Load Efficiency Mode」を選択します。
- 5. 「Actions」ドロップダウンリストから「Enable」または「Disable」を選択します。
- 6. 「Policy」ページで電源装置をオン/オフにするには、次のようにします。
 - a. 「Monitor Power Supply *x* Side *y* for power」を選択します。 次の例では、「Monitor Power Supply 0 Side 0」が選択されています。

System Information	System Manitaring	Power Manage	ment	Storage	Configu	iration	User Managemen	t Cont	ote Ma	intenanc
System Manage Access	ment Alert Mana	gement	Network	DNS	Serial Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP Client	Palicy
Policy Confi	guration									
the Action drop do	ret list									
Chassis Mon	itoring Mod	ule Policie	15	_	_	-	_	_	_	
and the second se										
1 Descriptio	n	_							Statu	1
Descriptio	n Miciency Mode								Statu	s ed
Descriptio Ught Load II Monitor Poe	n Miciency Mode er Supply D Side	e O far power	2						Statu Disable Enable	s ed
Descriptio Ught Load II Monitor Poe Monitor Poe	n friciency Mode er Supply 0 Side er Supply 0 Side	e O for power e 1 for power							Statu Disabl Etable Etable	s ect et
Descriptio Ught Load II Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow	m ficiency Mode er Supply D Side er Supply D Side er Supply I Side	e O for power e 1 for power e 0 for power							Statu Disable Enable Enable Enable	s ed ed ed
Descriptio Ught Load II Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow Monitor Pow	m friciency Mode er Supply D Side er Supply D Side er Supply I Side er Supply I Side	 0 for power 1 for power 0 for power 1 for power 							Statu Disabl Enable Enable Enable Enable	s ed ed ed ed ed ed

b. 「Actions」メニューから「Enable」または「Disable」を選択します。

▼ Web インタフェースを使用して冗長モードを有効または 無効にする

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
- 3. 「Power Management」-->「Redundancy」ページに移動します。

NM	System Information	System Monitoring	Power Manage	ment	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance								
de O	Consumption	Alocation	Redundancy	Histor	Ŷ												
	Power Redu	indancy															
NEM 0	View and configur	e the power re	dundancy polici	es.													
	Power Supply R	edundancy P	Policy: None Power a resunds Missing	opplins with stcy), or failed as	n allocatable: pplies reduce	obeer plus pawer suppl 16 Redundant Power.	tes revenued for reduce	dancy ("None" f	at no								
	Redundant Pow	ier:	O watts Power In	cier yed for	retundancy				Redundant Power: D watts Power reserved for relunitance								

- 4. ドロップダウンメニューから次のいずれかを選択します。
 - 「None」: 非冗長モードを設定する場合。
 - 「N+N」: 冗長モードを設定する場合。
- 5. 「Save (保存)」をクリックします。

CLI を使用した LLEM の設定

この節では、次の手順について説明します。

- 49 ページの「CLI を使用して LLEM を有効または無効にする」
- 49 ページの「CLI を使用して冗長モードを有効にする」
- 49 ページの「CLI を使用して非冗長モードを有効にする」

▼ CLI を使用して LLEM を有効または無効にする

- 1. CMM ILOM CLI にログインします。
- LLEM を有効または無効にするには、次のコマンドを使用します。
 -> set /CMM/policy LIGHT_LOAD_EFFICIENCY_MODE= [enabled|disabled]
- LLEM が無効になっている場合は、次のコマンドで PSU サイドをオン/オフにすることができます。

-> set /CMM/policy MONITOR_PSn_SIDEn=[enabled|disabled]

注 - 電源コードを抜く前に、PSU サイドをすべて無効にすることをお勧めします。

センサーの値 /CH/PSn/Sn/I_12V または /CH/PSn/Sn/V_OUT_OK をチェックでき ます。このとき、I_12V の値が 0、または V_OUT_OK が非アサートの場合は、対応 するサイドが無効になっています。

任意の PSU サイドの監視を無効にできます。冗長モード、非冗長モードのどちらで も、LLEM は、監視対象となっているサイドに対して機能します。

▼ CLI を使用して冗長モードを有効にする

- 1. CMM ILOM CLI にログインします。
- 2. 次のコマンドを使用して、冗長モードを設定します。
 - -> set /CMM/powermgmt redundancy=n+n

MONITOR_PSn_SIDEn がすべて有効に設定され、PSU サイドの監視を無効にしようとしても許可されません。

▼ CLI を使用して非冗長モードを有効にする

- 1. CMM ILOM CLI にログインします。
- 2. 次のコマンドを使用して、非冗長モードを設定します。

-> set /CMM/powermgmt redundancy=none

電源装置のファン速度を調整する

ILOM 3.0.6.11 の新機能によって、電源装置のファン速度の調整が可能になりました。 高速設定および低速設定は次のように定義されます。

- 高速とは、100%の許容速度でファンが回転している状態です。
- 低速とは、許容速度の80%でファンが回転している状態です。

注 – 使用されている PEM スロットが半分以下の場合のみ、電源ユニット (PSU) の ファンを低速にします。

この節では、次の項目について説明します。

- 50 ページの「Web インタフェースを使用して電源装置のファン速度を設定する」
- 51 ページの「CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する」

▼ Web インタフェースを使用して電源装置のファン 速度を設定する

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Chassis」ナビゲーション区画の「CMM」をクリックします。
- 3. 「Configuration」-->「Policy」に移動します。

Chassis	System Information	System Monitoring	Power Managem	ent	Storage	Configur	ation	User Management	Remote	Maint	enance		
Blade 0 Blade 8	System Manageme Access	ent Alert Manas	pement	Network	DNS	Serial Port	Clack	Timezone	Syslog	SMTP Client	Policy		
Blade 9	Policy Configu	Policy Configuration											
NEM 1	Configure system politie Action drop down	licies from this hist	page To Hod	fy a polic	y, select th	e radio butto	in next to	that policy, then c	haase Erabl	e or Disable	fram		
	CTREASE VIEW												
	Chassis Monito	Chassis Monitoring Module Policies											
	- Actions - *1												
	1 Description									Status	8		
	O Light Load Efficiency Mode										đ		
	O Monitor Power	O Monitor Power Supply D Side O for power									t i		
	O Monitor Power	Supply 0 Side	L for power							Enabled	÷		
	O Monitor Power	Supply 1 Side	for power							Enabled	é –		
	Heater Proof 3 Sec 3 for point Marker Proof 2 Sec 3 for pointer									Enabled			
	O Monitor Power	Supply 2 Side	1.101.00@81	C Service State Control and State St									
	O Monitor Power	Supply 2 Side	1 tor power							Enabled	t i		
	O Monitor Power O Sun Cooking Do	Supply 2 Side sor installed uncluidates to b	ch coppet							Enabled	1		
	O Monitor Power O Sun Cooling Do O Force Power Su	Supply 1 Side for installed upply fans to in upply fans to in	gh speed							Enabled Disable	d d		

- 4. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - 「Force Power Supply fans to low speed」
 - 「Force Power Supply fans to high speed」
- 5. 「Actions」ドロップダウンメニューから「Enable」または「Disable」を選択し ます。

電源装置のファンが電源装置を冷却する際、電源装置のファンは PEM スロットも冷却します。

注 – 両方のファン速度のポリシーを有効にした場合は、高速のポリシーが優先されます。

▼ CLI を使用して電源装置のファン速度を設定する

- 1. ILOM CLI インタフェースにログインします。
- 2. 次のコマンドを実行します。
 - -> set /CMM/policy PS_FANS_HIGH=[enabled|disabled]
 - -> set /CMM/policy PS_FANS_LOW=[enabled|disabled]

電源装置のファンが電源装置を冷却する際、電源装置のファンは PEM スロットも冷却します。

注 – 両方のファン速度のポリシーを有効にした場合は、高速のポリシーが優先されます。

電力管理ポリシーの無効化

CMM ILOM 3.0.6.11c (ソフトウェアバージョン 3.1.13) では、電力管理の新たなオプ ションが追加されています。このオプションによって、ユーザーは電力管理を無効に でき、電力割当量を超えている場合でも、シャーシ内のブレードに電力が投入される ようにすることができます。



注意 – シャーシがシャットダウンする可能性があります。Oracle のサービス担当者 に指示された場合を除いて、電力管理を無効にしないでください。 Oracle のサービス担当者の指示に従って電力管理を無効にする場合は、次のいずれ かの手順を使用します。

- 4-52 ページの「Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを無効にする」
- 4-53 ページの「CLI を使用して電力管理ポリシーを無効にする」

▼ Web インタフェースを使用して電力管理ポリシーを 無効にする

- 1. ILOM Web インタフェースにログインします。
- 2. 「Chassis」ナビゲーション区画から「CMM」を選択します。
- 3. 「Configuration」-->「Policy」に移動します。
- 4. 「Manage Chassis Power」を選択します。
- 5. 「Actions」ドロップダウンリストから「Disable」を選択します。

次の ILOM のグラフィック画面は、「Policy Configuration」ページの下部にある 「Manage Chassis Power」オプションを示しています。

	System Information	Syster Manite	n oring	Power Manag	ement	Storage	Configu	uration	User Managemen	t Cont	ote Ma	intenanc
	System Nanage Access	ement.	Alert Manaça	ment	Network	DNS	Serial Port	Clock	Timezone	Syslog	SMTP	Palicy
ŀ	Policy Confi	guratio	n									
	Configure system the Action drop d	policies fr aen list	on this	page. To r	nodify a pol	cy, select ti	ke radio but	ton next to	that policy, then	choose En	able or Disa	ole fram
	Chassis Mor	nitoring	Modul	e Polici	es				_		_	1
	- Actions	l										
Description										Status	e - 1	
L	O Light Load I	ficiency M	tode .								Disable	rd .
	Monitor Power Supply D Side D for power										Enable	
		HEL BRIDGE	only 0 Side 1 for power							d.		
I	O Montor Pov	er Supply	0 Side)	for powe	5						Enable	d d
	O Monitor Pos	er Supply er Supply	0 Side 1 1 Side 0	I for powe	17 17						Enable	d d d
	O Monitor Pos O Monitor Pos O Monitor Pos	er Supply er Supply er Supply	0 Side 1 1 Side 3 1 Side 1	I for powe for powe	स स 17						Enable Enable Enable	d d d

▼ CLI を使用して電力管理ポリシーを無効にする

- 1. CMM ILOM CLI にログインします。
- 2. 次のコマンドを入力します。
 - -> set /CMM/policy POWER_MANAGEMENT=disabled

Sun Blade 6048 の特定の場合における ILOM 3.0

この節で示す電源装置の構成は、Sun Blade 6048 モジュラーシステムにのみ適用され ます。

この節では、次の項目について説明します。

- 53 ページの「2 本の電源コード構成の場合の ILOM の動作」
- 55 ページの「電源装置の特定の状態における ILOM の表示」

2本の電源コード構成の場合の ILOM の動作

この節では、3 つの電源プラグのうち 2 つだけが A231 電源ユニット (PSU) に接続 されている場合の、CMM およびサーバーモジュールファームウェアの動作を説明 します。

各 A231 PSU の背面には 3 つのプラグがあります。これらのプラグは AC0、AC1、 AC2 という名前が付けられています。各プラグに 220V の電源コードを接続できま す。使用可能な 3 つのプラグのうち 2 つだけが A231 PSU に接続されている場合、 シャーシ全体に 5600 ワットの電力が供給されます。

3 つあるプラグのうち 2 つだけを接続する場合、AC0 と AC1 に接続します。AC2 に は接続しないようにしてください。

Sun Blade 6048 モジュラーシステムのセンサーについては、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 補足 - Sun Blade 6000/Sun Blade 6048 モジュラーシステム』(820-7603) を参照してください。

▼ 2 本の電源コード用の CMM を設定する

1. 電源コードが 2 本の構成の設定を行うには、CMM ILOM で次のコマンドを使用して、電源装置サイドを無効にします。

-> set /CMM/policy MONITOR_PS0_SIDE2=disabled

```
-> set /CMM/policy MONITOR_PS1_SIDE2=disabled
```

2. 無効にした電源コードのサイド 2 つの構成を表示するには、次のように入力します。

```
-> show /CMM/policy/
/CMM/policy
   Targets:
   Properties:
       COOLING_DOOR_INSTALLED = disabled
       MONITOR_PS0_SIDE0 = enabled
      MONITOR_PS0_SIDE1 = enabled
       MONITOR_PS0_SIDE2 = disabled
       MONITOR_PS1_SIDE0 = enabled
       MONITOR_PS1_SIDE1 = enabled
       MONITOR_PS1_SIDE2 = disabled
       PS_FANS_HIGH = disabled
   Commands:
       cđ
       set
       show
```

電源装置の特定の状態における ILOM の表示

この節では、Sun Blade 6048 モジュラーシステムに特定のケースでのシステムイベントログ (SEL) に対応する、センサーの表示をいくつか示します。

IPMItool を使用して SEL を表示するには、次のコマンドを使用します。

ipmitool -H SPIPaddress -U root -P changeme sel list

AC ケーブルの接続が解除された場合

AC ケーブルの接続が解除されると、SEL には、表 4-1 で電源装置のモジュール 0、 サイド 0 についての例の中で示されているように表示されます。

注 – イベントの順序は、センサーの読み取り結果に基づくものなので、厳密にはリアルタイムのイベントと一致しない場合もあります。

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
8	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	AC が接続されていないため、 PSU 0 side 0 の DC 出力はあ りません。
9	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Asserted	PSU 0 side 1 の AC の接続が 解除されています。

表 4-1 AC ケーブルの接続が解除された場合の SEL の表示

AC ケーブルの接続が解除後に再接続された場合

AC ケーブルの接続が解除され、その後、再接続された場合、SEL には、表 4-2 に電 源装置のモジュール 0、サイド 0 について示されているように表示されます。

表 4-2 AC ケーブルが再接続された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
8	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	AC が接続されていないため、PSU 0 side 0 の DC 出力はありません。
9	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Asserted	PSU 0 side 0 の AC の接続が解除さ れています。
a	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	AC が接続されているため、PSU 0 side 0 の DC 出力は OK です。
b	Voltage PS0/S0/V_IN_ERR	Predictive Failure Deasserted (障害予測表明停止)	PSU 0 side 0 は接続されています。

stop /CH **コマンド**

stop /CH コマンドが適用されると、SEL には、表 4-3 の例のように表示されます。 この例では、2 本の電源コード構成について説明しています。

表4-3 stop /CH SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
29	Module/Board NEM1/STATE	Transition to Power Off	PSU の停止により、NEM 1 に十分な 電力が供給されていません。
2a	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 0 は電力オフの状態です。
2b	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 1 は電力オフの状態です。
2c	Module/Board NEM0/STATE	Transition to Power Off	PSU の停止により、NEM 0 に十分な 電力が供給されていません。
2d	Voltage PS1/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU1 side 0 は電力オフの状態です。
2e	Voltage PS1/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU1 side 0 は電力オフの状態です。

start /CH **コマンド**

start /CH コマンドが適用されると、SEL には、表 4-4 の例のように表示されます。 この例では、2 本の電源コード構成について説明しています。

表4-4 start /CH SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
2f	Module/Board NEM1/STATE	Transition to Running	NEM 1 に電力が投入されて います。
30	OEM BL7/ERR	Predictive Failure Deasserted	ブレードモジュールにエラー はありません。
31	Module/Board NEM0/STATE	Transition to Running	NEM 0 に電力が投入されて います。
32	Voltage PS1/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 1 side 0 は電力オンの 状態です。
33	Voltage PS1/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 1 side 1 は電力オンの 状態です。
34	OEM BL1/ERR	Predictive Failure Deasserted	ブレードモジュールにエ ラーはありません。
35	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 0 は電力オンの 状態です。
36	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 1 は電力オンの 状態です。

PSU が1つ取り外されている場合

PSU が 1 つ取り外されて、シャーシ内の消費電力が増加し PSU の冗長性を維持できない場合、SEL には表 4-5 に示すとおり表示されます。

表 **4-5** PSU が取り外された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
1	Entity Presence PS0/PRSNT	Device Absent	PS0 がシステムにありません。

表 4-5 PSU が取り外された場合の SEL の表示 (続き)

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
2	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 0 は電力オフの状態 です。
3	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 1 は電力オフの状態 です。
4	Voltage PS0/S2/V_OUT_OK	State Deasserted	PSU 0 side 2 は電力オフの状態 です。

PSU が再挿入される場合

表 4-6 では、PSU がシステムに再挿入され、再び通電したことをシステムが認識した際の SEL の表示を示しています。

表 4-6 PSU が再挿入された場合の SEL の表示

Event ID (イベント ID)	デバイス	状態	説明
5	Entity Presence PS0/PRSNT	Device Present	PS0 がシステム内にあります。
6	Voltage PS0/S0/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 0 は電力オンの状態 です。
7	Voltage PS0/S1/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 1 は電力オンの状態 です。
8	Voltage PS0/S2/V_OUT_OK	State Asserted	PSU 0 side 2 は電力オンの状態 です。

Sun Blade Zone Manager

この章には、次の表で示されているように、Sun Blade Zone Manager の機能についての情報が含まれています。

	リンク
- Sun Blade Zone Manager の機能とそ の使用に関する前提条件を学習する	• 60 ページの「Sun Blade Zone Manager につ いて」
Sun Blade Zone Manager にアクセス して有効にする	 68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのア クセス」
ストレージのゾーン構成を作成する	 73ページの「シャーシのストレージアクセス 構成の作成」
ストレージのゾーン構成を表示また は変更する	 86 ページの「シャーシのストレージアクセス 構成の表示または変更」
ストレージのゾーン構成を保存する	 101 ページの「シャーシのストレージアクセス 構成の保存」
ストレージのゾーン構成をバック アップする	 103 ページの「ストレージアクセス構成のバッ クアップ」
ストレージのゾーン構成を復元する	• 105 ページの「ゾーン構成の復元」
ゾーン構成をリセットする	• 109 ページの「ゾーン構成のリセット」
ゾーンのパスワードをリセットする	• 111 ページの「ゾーンのパスワードのリセット」

Sun Blade Zone Manager について

この節では、次の項目について説明します。

- 60 ページの「Sun Blade Zone Manager 概要」
- 60 ページの「サポートされる ILOM インタフェース」
- 64 ページの「ゾーン構成の概要」
- 67 ページの「サポートされるハードウェアおよびファームウェアの構成」

Sun Blade Zone Manager 概要

Sun Blade Zone Manager は、Sun Blade モジュラーシステムの CPU ブレード、スト レージデバイス、および NEM への SAS-2 のストレージ割り当てを処理します。ま た、Zone Manager はシャーシ監視モジュール (CMM) で実行され、ストレージブ レードおよび NEM 上の SAS-2 エクスパンダ間とのイーサネットリンクを介してス トレージリソースと通信します。

Zone Manager を使用して、シャーシに接続されているストレージモジュールのスト レージデバイスをサーバーブレードに割り当てることができます。クラスタの場合、 ストレージデバイスは複数のサーバーモジュール (ブレード) に割り当てることが可 能です。

現時点では、Zone Manager は Sun Blade 6000 モジュラーシステムでのみ使用可能 です。

サポートされる ILOM インタフェース

Sun Blade Zone Manager は、ILOM 3.0.10 以降が含まれる Sun Blade 6000 Modular System CMM SW 3.0.10 以降で使用できます。

Zone Manager は、ILOM の Web インタフェースまたはコマンド行インタフェース (CLI) からアクセスできます。Web インタフェースと CLI の機能は同等ですが、Web インタフェースには使いやすい機能がいくつか追加されています。

この節では、次の項目について説明します。

- 61 ページの「Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアクセス」
- 63 ページの「CLI を使用した Zone Manager へのアクセス」

Web インタフェースを使用した Zone Manager へのアク セス

Sun Blade Zone Manager には、CMM ILOM の「Storage」タブからアクセスします。 ストレージ構成の設定には次の2つのオプションがあります。

- Quick Setup は、4 種類のゾーン構成のいずれかを選択して、初回のゾーンを設定できます。
- Detailed Setup は、ブレードやストレージデバイスを個別に選択して、ゾーン 構成を作成または変更できます。

次の例は、Quick Setup で使用できる構成の1つです。

Quick Si	etup			_		_	_		_	
Select how	you would like all chas	ssis storage resources	allocated and click 'Sa	ve'.						
O1.As	sion per individual disk	s. O2 Assign per a	diacent individual disks	9						
• 3 As	sion per storage blade	O 4 Assign per a	diacent storage blade.							
Save										
-			SUN BLADE	E 6000 MOD	ULAR SYSTEM - SUN	CMM-0	00000-00000	00000		
Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	1.000	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Blade	Storage Blade SUN BLADE STORAGE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE	Blade	Storage Blade	rage Blade Storage Blade N BLADE STORAGE SUN BLADE STORAGE		Storage Blade SUN BLADE STORAGE	Server Blade	Storage Blade SUN BLADE STORAGE
SUN BLADE X6270	MODULE N2	MODULE M2	MODULE M2	BUN BLADE X6270	MODULE M2	MODU	EM2	MODULE M2	SUN BLADE X6270	MODULE M2
SERVER MODULE	H004 H005	HOD & HOD S	HOD & HOD S	SERVER MODULE	HDD 4 HDD 5	HOD	HODS	H00 4 H00 5	MODULE	HDD 4 HDD 5
	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3	HDD	HDD 3	HED 2 HED 3		HDD 2 HDD 3
	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1	HDD	HDD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23	FMO	22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23
	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21	FMCC	20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21
	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19	FMO	18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19
	FMOD 16 FMOD 17	PMOD 16 PMOD 17	PMOD 16 PMOD 17		PMOD 16 PMOD 17	PMCC	16 PMOD 17	FMOD 16 FMOD 17		PMOD 16 PMOD 17
	FMOD 12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13		EMOD 12 EMOD 13	FMCE	12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13
	FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11	FMOD	10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11
	FMOD 8 FMOD 9	FMOD 8 FMOD 9	FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9	FMOD	8 FMCD 9	FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9
	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7	FMOD	6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7
	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5	FMCC	4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5
	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3	FMO	2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3
	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	FMOR	0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1
,	IEM Slot 0	NEM Slot 1					NAC name:	-		
SAS NEM NEM-2	SN	AS NEM EM-2					Disk type:	-		
EXT 0 E	T1 EKT2 EKT3	EXTO EXT1 EXT2 E	XT 3				WWN:	-	_	
_										

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

Quick Setup の詳細については、73 ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」を参照してください。

Detailed Setup では、Quick Setup で設定したゾーン構成を変更したり、ストレージ デバイスをサーバーブレードに個別に割り当てたりすることができます。次の例で は、サーバーブレードへの割り当てから削除するために選択されているドライブを示 しています。

Modify Gr Indicated be any compon Save	roup low is your se ents outside t Cancel	lected group of compor he group that you want	nents that cun added. When	ently have as: you are ready	signed access. Click on to apply the changes, o	those within th lick 'Save'.	ne group that you would	d like to remov	re access to. Click on
Slot 0 Server Blade Sull BLADE Xe270 M2 SERVER MCDULE	Slot 1 Barver Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slorage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade Hobole M2 FMOD 21 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 24 FMOD 25 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 19 FMOD 19 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15	Slot 3 Server Blade Sun BLADE X8270 M2 SERVER MCOULE	Slot 4 Berver Blade Sun BLADE Xegro M2 SERVER MODULE	Stot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 PMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 PMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 5 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 8 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 3	Slot 6 Server Blade Suu BLADE XEZTO M2 SERVER MCDULE	Slot 7 Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade NCOULE M2 HDD 5 HDD 6 HDD 7 HDD 7 HDD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 13 FMOD 16 FMOD 13 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 1 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 6 <th colspan="</th> <th>Slot 8 Server Blade Sun BLADE XEZTO M2 SERVER MCOULE</th> <th>Slot 9 Storage Blade Storage Blade WH BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 10</th>	Slot 8 Server Blade Sun BLADE XEZTO M2 SERVER MCOULE	Slot 9 Storage Blade Storage Blade WH BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 HDD 0 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 10
NEM Slot 0 NEM Slot 1 SAS NEM SAS NEM NEM-2 NEM-2 Ext10 Ext11 Ext10 Ext12 Ext10 Ext13				NAC name: Disk type: WWN:	-				

ドライブ HDD4-HDD7 と FMOD1-FMOD6 が選択され、青色で強調表示されていま す。構成を保存すると、これらのストレージデバイスはスロット1のサーバーブレー ドとは結合していない状態になります。

Detailed Setup を使用してゾーン構成を変更する方法の詳細については、87 ページの「Web インタフェースを使用してシャーシのストレージ構成を表示および変更する」を参照してください。
CLI を使用した Zone Manager へのアクセス

コマンド行インタフェースでは、名前空間 /STORAGE/sas_zoning からブレードや ストレージデバイスのゾーン機能にアクセスできます。

ゾーン機能が有効になっている場合、SAS-2対応のブレードと NEM がターゲットとして /STORAGE/sas_zoning の下に表示されます。例:

```
-> show /STORAGE/sas_zoning
  Targets:
    BL 0
    BL6
    BL7
    BL8
    BL9
    NEM0
    NEM1
  Properties
    zone management state = enabled
    reset_password_action = (Cannot show property)
    reset_access_action = (Cannot show property)
  Commands:
     cd
     set
     show
```

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

ストレージブレードに取り付けられているストレージデバイスは、ストレージブレードのターゲットとして表示されます。たとえば、BL9 がスロット9に接続されているストレージブレードである場合、このブレードに接続されているストレージデバイスは次のように表示されます。

-> show /STORAGE/sas zoning/BL9	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
Targets.	
idigeeb.	
FMOD8	
111020	
НООО	
11220	
HDD2	
HDD3	
HDD5	

ゾーン構成は、サーバーブレードまたはストレージブレードのいずれからもアクセス と変更ができます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

ゾーン構成の概要

次のトピックでは、CLI によるゾーン構成の概要について説明します。

- 64 ページの「ゾーン機能のコマンド」
- 65ページの「サーバーブレードへのストレージの割り当て」
- 66ページの「ストレージへのサーバーブレードの割り当て」

ゾーン機能のコマンド

ストレージをサーバーブレードに割り当てるか、サーバーブレードをストレージデバ イスに割り当てることで設定できます。いずれの方法でも同じ結果が得られます。

ストレージデバイスをサーバーブレードに割り当てる場合は、次のいずれかのコマンドを使用します。

-> set add_storage_access=/CH/BLn/HDDn

または

-> set add_storage_access=/CH/BLn/FMODn

ここでは、BLn はストレージブレード、HDDn はストレージブレードに取り付けら れているハードディスクドライブ、FMODn はストレージブレードに取り付けられて いるフラッシュモジュール (FMOD) を表します。 必要に応じて、ストレージデバイスをコンマで区切ることで、同じコマンド行で複数 のストレージデバイスをブレードに割り当てることができます。例:

-> set add_storage_access=/CH/BLn/FMODn,/CH/BLn/HDDn

サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てる場合は、次のコマンドを使用し ます。

-> set add_host_access=/CH/BLn

ここでは、BLn はストレージデバイスの割り当て先のサーバーブレードを表します。

サーバーブレードへのストレージの割り当て

サーバーブレードにストレージデバイスを割り当てる前は、このブレードの下に表示されるターゲットはありません。次の例で、BL0はスロット0のサーバーブレードです。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL0
-> show
/STORAGE/sas_zoning/BL0
Targets:
Properties:
    add_storage_access = (Cannot show property)
    remove_storage_access = (Cannot show property)
```

次のコマンドでは、シャーシのスロット9のストレージブレードに取り付けられている HDD0 がスロット0 に取り付けられているサーバーブレードに割り当てられます。

```
-> set add_storage_access=/CH/BL9/HDD0
```

ストレージデバイスがサーバーブレードに割り当てられると、そのストレージデバイ スがサーバーブレードのターゲットとして表示されます。例:

```
-> show
/STORAGE/sas_zoning/BL0
Targets:
    0 (/CH/BL9/HDD0)
Properties:
    add_storage_access = (Cannot show property)
    remove_storage_access = (Cannot show property)
```

ストレージへのサーバーブレードの割り当て

ストレージデバイスにブレードを割り当てた後で、このストレージデバイスの下に ターゲットが表示されます。次の例で、HDD0 はシャーシのスロット 9 に取り付け られているストレージブレードに接続されたストレージデバイスです。

```
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0
-> show
/STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0
Targets:
Properties:
   type = Hard Disk
   disk_type = SAS
   wwn = 0x5000c50003d3a765, 0x5000c50003d3a766
   sas_speed = 6.0 Gbps
   add_host_access = (Cannot show property)
   remove_host_access = (Cannot show property)
```

次のコマンドでは、スロット0のサーバーブレードがストレージブレード9の HDD0に割り当てられます。

-> set add_host_access=/CH/BL0

サーバーブレードがストレージデバイスに割り当てられると、そのサーバーブレード がストレージデバイスのターゲットとして表示されます。例:

```
-> show
/STORAGE/sas_zoning/BL9/HDD0
Targets:
    0 (/CH/BL0)
Properties:
    type = Hard Disk
    disk_type = SAS
    wwn = 0x5000c50003d3a765, 0x5000c50003d3a766
    sas_speed = 6.0 Gbps
    add_host_access = (Cannot show property)
    remove_host_access = (Cannot show property)
```

ゾーンの作成および変更する方法の詳細については、次の手順を参照してください。

- 73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」
- 86ページの「シャーシのストレージアクセス構成の表示または変更」

サポートされるハードウェアおよびファームウェ アの構成

次の節では、Sun Blade Zone Manager をサポートするハードウェアおよびファーム ウェアの構成について説明します。

- 67 ページの「SAS-2 対応のハードウェア」
- 67 ページの「その他のシステム要件」

SAS-2 対応のハードウェア

Sun Blade Zone Manager で認識されるためには、シャーシにある次のハードウェア はいずれも SAS-2 に対応している必要があります。

- SAS-2 REM のあるサーバーブレード
- Network Express Module (NEM)
- ストレージブレード

ストレージモジュールまたはサーバーブレードが SAS-2 に対応していない場合は、 Zone Manager の構成に含まれません。このブレードの存在は Web インタフェース で確認できますが、デバイスは「non SAS-2」と表示されます。CLI では、SAS-2 非 対応のブレードは一切表示されません。

CPU ブレードを除く SAS-2 デバイスは、Zone Manager で認識されるには電源が 入っている必要があります。また、障害が発生した状態の SAS-2 デバイスは Zone Manager で認識されないことがあります。コンポーネントの障害の検出について は、使用しているプラットフォーム固有の ILOM 補足資料または各プラットフォー ムの管理マニュアルを参照してください。

その他のシステム要件

- Sun Blade 6000 モジュラーシステムには、PCIe 2.0 準拠のミッドプレーンが必要です。この要件を満たしているかどうかを判定する方法の詳細については、『Sun Blade 6000 モジュラーシステムご使用にあたって』を参照してください。
- Sun Blade 6000 モジュラーシステムにソフトウェアリリース 3.2.1 がインストール されている必要があります。このリリースには、SAS-2 をサポートする最低バー ジョン (3.0.10.15a) の CMM ILOM ファームウェアと、Sun Blade Zone Manager が含まれています。
- SAS-2 をサポートするコンポーネント (SAS-2 REM、SAS-2 NEM、SAS-2 スト レージモジュールを備えたサーバーモジュール) がインストールされている必要が あります。

- SAS-2 NEM は、ゾーン機能をサポートするレベルのファームウェアバージョンで なければなりません。NEM のプロダクトノートで、バージョン情報と利用可能な 更新を確認してください。
- CMM ILOM の初期設定と構成を行い、このドキュメントの第2章で説明されている接続方法 (Web ブラウザまたは CLI) のいずれの方法で接続するかを決めておく必要があります。

Sun Blade Zone Manager へのアクセス

この節では、Zone Manager にアクセスする方法と有効化する方法について説明します。この節では、次の項目について説明します。

- 68 ページの「Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアク セスして有効にする」
- 71ページの「CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効に する」

▼ Web インタフェースを使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスして有効にする

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

次の手順に従って、Web インタフェースを使用して Zone Manager にアクセスして 有効にします。

1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力して CMM にログインします。

http://chassis_sp_ipaddress/

ここでは、*chassis_sp_ipaddress* はシャーシのサービスプロセッサの IP アドレスを 表します。

ILOM のログインページが表示されます。

2. root ユーザーアカウントでログインします。 CMM ILOM のメインページが表示されます。

CMM To m Blade 0 belo Blade 9 NEM 0 NEM 1	assis Vie nanage a Bl w.	ever ade ar Chassis Monitoring Madule, click on it in t	the left navigation	pane or in the image
	hassis Inv	rentory		
Ci	hassis Inv	rentory	Part Number	Serial Number
	hassis Inv omponent	rentory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM	Part Number 541-3799-01	Serial Number
	hassis Inv omponent H H/CMM	Ventory	Part Number 541-3789-01	Serial Number 0000000-0000000000 -
	hassis Inv omponent H H/CMM H/BL0	ASSY, BD, X6250	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03	Serial Number 0000000-0000000000 - -
	hassis Inv omponent H H/CMM H/BLO H/BL1	Pentory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000
	Hassis Inv mponent H H/CMM H/BL0 H/BL1 H/BL8	Pentory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY, BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000 0923FM1013
	Hassis Inv mponent H H/CMM H/BL0 H/BL1 H/BLB H/BL9	Pentory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM ASSY, BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE STORAGE MODULE SUN BLADE X6270 SERVER MODULE SUN BLADE X6250 Server Module	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000 0923FM1013 0841QAW048
	назыз Inv omponent н н/смм н/8L0 н/8L1 н/8L8 н/8L9 н/8L9 н/NEM0	entory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM ASSY, BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE SUN BLADE X6250 Server Module SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC LOGE NEM M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01 540-7961-02	Serial Number 0000000-000000000 - - 00000000 0923FM1013 0841QAW04B -

 左側の「Chassis」ナビゲーション区画で「CMM」をクリックし、「Storage」 タブをクリックします。

「Zone Manager Settings」サブページが表示されます。

Chassis	System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance
Blade 0	Zoning							
	Sun Blade Zone Ma	anager Settings						
	The Sun Blade Zone Mana modify the chassis storage ability to reset the manage	iger provides a way of coi a assignments, the Sun E ement password if it is lo	nstraining which servers haw Ilade Zone Manager must b st or forgotten.	e access to st e enabled. If yo	orage resources (HD u are using an exter	Ds. FMODs. external SAS nal, in-band application to	ports) within a SAS dor o manage SAS zoning,	nain. To view or you have the
	Sun Blade Zone Manag	er: 🗌 Enabled						
	Save							
	In-Band Zoning Ma	inager						
	The zoning password is on can click 'Reset Password'	ly required by in-band zor below to restore it to the	ning management applicatio a default value (all-zeroes). I	ns running on Note: the pass	a Host OS. If you use word cannot be modi	such applications and th fied while the Sun Blade 2	his password is lost or f Zone Manager is enabl	forgotten, you led.
	Reset Password							

4. 「Enable」チェックボックスをオンにして CMM のゾーン機能を有効にし、 「Save」ボタンをクリックします。

これで、CMM からゾーン機能の作成、表示、管理ができるようになります。

Chassis	System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance
СММ	Zoning							
- Blade 0	Sun Blade Zone Ma The Sun Blade Zone Mana the chassis storage assign the management password	anager Settings ger provides a way of cons ments, the Sun Blade Zon d if it is lost or forgotten.	training which servers have e Manager must be enable	access to sto d. If you are us	rage resources (HDI sing an external, in-b	Ds. FMODs. external SAS p and application to manag	orts) within a SAS dom e SAS zoning, you have	ain. To view or modify the ability to reset
	Sun Blade Zone Manag Save	er: 🗹 Enabled						
	Sun Blade Zone Ma	anager						
	The Sun Blade Zone Mana can use Detailed Setup for	ger can be operated in one finer control over setup of	e of two ways. You can use 'your chassis storage reso	Quick Setup to urces. Choose	select from a choic from below.	e of assignment patterns	to get the entire chas	ils prepared, or you
	Whole Chassis So	etup e chassis that overwrites ar Quick Setup	ny existing configuration.	— OR -	Full Res	ource Control hassis configuration by cr Detailed s	eating or modifying as: Setup	signments.
	Zoning Reset If the Sun Blade Zone Man any SAS disk (/0 traffic. Reset All	ager is enabled and you w	ould like to erase all of the	current config	uration and start fro	m defaults, click 'Reset All	" below. Note that this	action will interrupt

CMM ILOM サービスがまだ初期化中の場合は、次のメッセージが表示されます。

Chassis	System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Management	Remote Control	Maintenance
- 📕 Blade 0	Zoning							
- 🗐 Blade 9	Sun Blade Z	one Manager :	Settings					
-	The Sun Blade Zo ports) within a SA using an external	nne Manager providu IS domain. To view 4 , in-band application	es a way of constrair or modify the chassis to manage SAS zon <u>A</u> Sun E The Sun Blade for operation. F refresh to chec	ing which ser s storage ass ing, you have llade Zone Zone Manage lease wait se k the status.	vers have access to ignments, the Sun B the ability to reset th Manager Not R r is initializing and no veral minutes and th	storage resources lade Zone Manager re management pas eady ot ready en	(HDDs, FMODs, must be enabl ssword if it is lo	external SAS ed. If you are st or forgotten.
	Save							

このメッセージが表示された場合は、5分間待ってから、再度実行してください。このページを閉じてから再度開くか、更新する必要があります。

5. 73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」の手順を使用して、 ストレージのゾーン機能を設定します。

▼ CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアク セスして有効にする

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

次の手順に従って、CLI を使用して Zone Manager にアクセスして有効にします。

端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して CMM への SSH 接続を確立します。

ssh -1 root *cmm_ipaddress*

ここでは、cmm_ipaddress は、CMM の IP アドレスを表します。

ログインプロンプトが表示されます。

 次に示すように、root としてログインしてルートパスワードを入力します。 /hostname/login: root

パスワード: xxxxxxxx

正常にログインすると、次の CLI プロンプトが表示されます。

->

3. 次のコマンドを入力して、ゾーン機能に必要な最低バージョンの CMM ファーム ウェアがインストールされていることを確認します。

-> version

ILOM ファームウェアは、3.0.10 以上でなければなりません。これよりも前の バージョンである場合は、バージョン 3.2.1 (またはそれ以降)の CMM ILOM ファームウェアをダウンロードする必要があります。ファームウェアのダウン ロードおよびアップグレードの手順については、第3章を参照してください。 ダウンロード後、CMM ILOM ファームウェアをアップグレードします。

4. 次のコマンドを入力して、ディレクトリを sas_zoning に変更します。

-> cd /STORAGE/sas_zoning/

5. show コマンドを入力して、sas_zoning が有効になっているかどうかを確認し ます。例:

```
-> show
/STORAGE/sas_zoning
Targets:
Properties:
    zone_management_state = disabled
    reset_password_action = (Cannot show property)
    reset_access_action = (Cannot show property)
Commands:
    cd
    set
    show
```

zone_management_state = disabled と表示されている場合は、保存されている SAS-2 のゾーン設定はありません。

必要に応じて、次のコマンドを入力してゾーン機能を有効化します。

-> set zone_management_state=enabled

Zone Manager が有効化できる状態になっている場合は、次のメッセージが表示されます。

Enabling the Sun Blade Zone Manager will result in the clearing of all zoning configuration in the installed chassis SAS hardware, and any SAS disk I/O in progress will be interrupted.

Are you sure you want to enable the Sun Blade Zone Manager (y/n)? $\boldsymbol{\mathbf{y}}$

Set 'zone_management_state' to 'enabled'

■ CMM ILOM が初期化されていない場合は、次のメッセージが表示されます。

set: The Sun Blade Zone Manager is initializing and not ready for operation. Please wait several minutes and try again.

このメッセージが表示された場合は、5分間待ってから、コマンドを再度実行 します。

7. 73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の作成」の手順を使用して、 ストレージのゾーン機能を設定します。

シャーシのストレージアクセス構成の 作成

シャーシのストレージアクセスを作成するには、次の3つのオプションがあります。 Quick Setup でWeb インタフェースを使用する方法、Detailed Setup でWeb インタ フェースを使用する方法、CLI を使用する方法です。また、設定を復元して、ゾーン 作成済みの構成のバックアップを使用することもできます(105ページの「ゾーン構 成の復元」を参照)。

Quick Setup は、SAS-2 に準拠した CPU ブレードのシャーシの初期ストレージアク セス構成を作成するプロセスを自動化するウィザードです。Quick Setup は ILOM Web インタフェースからのみ使用できます。CLI には、Quick Setup と同等の機能は ありません。

この節では、次の項目について説明します。

- 73 ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の 作成」
- 79 ページの「Detailed Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の 作成」
- 84 ページの「CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成」

Quick Setup を使用したシャーシのストレージア クセス構成の作成

ILOM の Web インタフェースの Quick Setup では、ブレードやストレージデバイ スをシャーシ内でゾーン化する方法を4種類の構成オプションから選択できます。

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接 続はサポートされません。

この節では、次の項目について説明します。

- 74 ページの「Quick Setup のオプション」
- 77 ページの「Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期ストレージ構成を作成する」

Quick Setup のオプション

次のトピックで、Quick Setup で使用できる 4 つのオプションについて説明します。

- 74 ページの「オプション 1: 個別のディスクごとに割り当てる」
- 75 ページの「オプション 2: 隣接する個別のディスクごとに割り当てる」
- 76 ページの「オプション 3: ストレージブレードごとに割り当てる」
- 77 ページの「オプション 4: 隣接するストレージブレードごとに割り当てる」

オプション 1: 個別のディスクごとに割り当てる

このオプションでは、ラウンドロビンアルゴリズムを使用してディスクをホストに 割り当てます。ディスクの所有権は、有効なストレージモジュールに均等に分配さ れます。

このオプションは、単一のストレージモジュールの障害や削除がアレイの停止を引き 起こさないような耐障害性に適しています。



オプション 2: 隣接する個別のディスクごとに割り当てる

このオプションでは、ストレージデバイスの数がサーバーブレード間で均等に分割されます。すべてのサーバーで、できるだけディスクが同数になるように割り当てられます。

有効なすべてのストレージブレード間で、ラウンドロビン方式でストレージを割り当 てるのではなく、サーバーブレードに隣接するストレージブレードからストレージが 割り当てられます。サーバーブレードに隣接するストレージブレードがない場合は、 できるだけ近いストレージブレードが使用されます。

このオプションは、ストレージブレードよりもサーバーブレードの数が多く、各スト レージブレードに同数のストレージデバイスを割り当てる必要がある場合に適してい ます。

Quick Setup													
Select how y	ou would like	all chassis storage res	ources alloca	ted and click %	Bave'.								
O 1. Assi	gn per individ	ual disks. 💿 2. Assig	n per adjacen	t individual dis	sks.								
O 3. Assi	gn per storag	e blade. 🛛 🔿 4. Assig	n per adjacen	t storage blad	e.								
Save	Save												
SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-000000000													
Slot 0 Server	Slot 1 Server	Slot 2 Storage Blade	Slot 3 Server	Slot 4 Server	Slot 5 Storage Blade	Slot 6 Server	Slot 7 Storage Blade	Slot 8 Server	Slot 9 Storage Blade				
Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	SUN BLADE STORAGE				
X6270 M2	X6270 M2 SERVER	HDD 6 HDD 7	SUN BLADE X6270 M2	X6270 M2	HDD 6 HDD 7		HDD 6 HDD 7	X6270 M2	HDD 6 HDD 7				
MODULE	MODULE	HDD 4 HDD 5	MODULE	MODULE	HDD 4 HDD 5		HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5				
		HDD 2 HDD 3			HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3				
		HDD 0 HDD 1			HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1				
		FMOD 22 FMOD 23			FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23				
		FMOD 20 FMOD 21			FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21				
		FMOD 18 FMOD 19			FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19				
		FMOD 16 FMOD 17			FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17				
		FMOD 14 FMOD 15			FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15				
		FMOD 12 FMOD 13			FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13				
		FMOD 10 FMOD 11			FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11				
		FMOD 8 FMOD 9			FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9				
		FMOD 6 FMOD 7			FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7				
		FMOD 4 FMOD 5			FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5				
		FMOD 2 FMOD 3			FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3				
		rmoo o rmoo 1			rm000 rm001		11000 11001		TMODU TMODI				
						MAG normal							
SAS NEM	NEM Slot 0 NEM Slot 1 SAS NEM SAS NEM					Disk type	-						
NEM-2		NEM-2				WWN:	-						
EXTO EXT	EXT2 EX	EXTO EXTI E	XI 2 EXT 3				1						

オプション 3: ストレージブレードごとに割り当てる

このオプションでは、スロット0から開始してサーバーを検出し、もっとも近くにある有効なストレージモジュールを割り当てます。たとえば、サーバーが7つ、ストレージモジュールが3つある場合は、最初の3つのサーバーにのみストレージモジュールが割り当てられます。

このオプションは、ストレージブレードとモジュールの数が同数以上あるの場合に適 しています。ストレージブレードが少ないと、一部のサーバーブレードがストレージ デバイスに割り当てられません。

Quick Se	tup						_			
Selecthow	you would like all chas	isis storage resources	allocated and click 'Sav	e'.						
01.As	sign per individual disk	s. O 2. Assign per a	diacent individual disks							
• 3. As	sign per storage blade.	O 4. Assign per al	diacent storage blade.							
Rawp										
- Jare										
			SUN BLADE	6000 MOD	ULAR SYSTEM - SUNC	MM-0	00000-00000	00000	-	
Slot 0 Server	Slot 1 Storage Blade	Slot 2 Storage Blade	Slot 3 Storage Blade	Slot 4 Server	Slot 5 Storage Blade	Storad	Slot 6 te Blade	Stot 7 Storage Blade	Slot 8 Server	Slot 9 Storage Blade
Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN B	ADE STORAGE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
X/6270 SERVER	HDD 6 HDD 7	HDD 6 HDD 7	HDD 6 HDD 7	X6270 SERVER	HDD 6 HDD 7	HDD	HDD 7	HDD 6 HDD 7	X8210 SERVER	HDD 6 HDD 7
MODULE	HDD 4 HDD 5	HDD 4 HDD 5	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5	HOD	HOD 5	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5
	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3	HOD	HDD 3	HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3
	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1	HOD	HDD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1
	FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23	FM00-22 FM00-23		FMOD 22 FMOD 23	FMCE	22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23
	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21	FMCE	20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21
	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19	FMCG	18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19
	FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17	FMCC	16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17
	FMOD 14 FMOD 15	FMOD 14 FMOD 15	FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15	FMCC	14 PMOD 15	FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15
	FMOD 12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13	FMOD	12 FMOD 13	FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13
	FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11	ENCO IL ENCO IL		FMOD 10 FMOD 11	FIRCE	B FMC0 9	FMOD TO FMOD TI		FMOD 10 FMOD 11
	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7	FMOD	6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7
	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5	FMCC	4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5
	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3	FMOD	2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3
	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	FMCC	0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1
N	EM Slot 0	NEM Slot 1	2				NAC name:	-		
NEM-2	S N	AS NEM EM-2					Disk type:	-		
EXT 0 E	T1 EXT2 EXT3	EXTO EXT1 EXT2 E	KT 3				WWW	-		

オプション 4: 隣接するストレージブレードごとに割り当てる

このオプションでは、隣接するスロット内で、サーバーごとに1つのストレージモジュールのあるサーバーが検出されます。隣接するスロットにストレージモジュールがないサーバーには、どのストレージも割り当てられません。

このオプションは、ストレージブレードとサーバーブレードが同数で、各サーバーブ レードに隣接する一意のストレージブレードがある場合に適しています。

Quick Setup											
Select h	ow you would like all c	hassis storage resour	ces allocated and clic	k 'Save'.							
O1. 4	ssion per individual d	isks. O.2. Assign pe	r adiacent individual d	isks.							
O 3. A	assion per storage bla	ide. • 4. Assign pe	r adiacent storage bla	de.							
524											
Save											
SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCHM-000000-000000000											
Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slo	ot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9	
Blade	SUN BLADE STORAGE	Storage Blade SUN BLADE STORAGE	SUN BLADE STORAGE	Blade	Storage Blade	Storage B SUN BLADE ST	TORAGE	SUN BLADE STORAGE	Blade	Storage Blade SUN BLADE STORAGE	
UN BLADE 6270 M2	HDD 6 HDD 7	HDD 6 HDD 7	HDD 6 HDD 7	SUN BLADE X6270 M2	HDD 6 HDD 7	HDD 6 H	00.7	HDD 6 HDD 7	SUN BLADE X6270 M2	HDD 5 HDD 7	
ODULE	HDD 4 HDD 5	HDD 4 HDD 5	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5	HDD 4 H	DD 5	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5	
	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3	HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3	HDD 2 H	DD 3	HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3	
	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1	HDD 0 H	DD 1	HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1	
	FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23	FMOD 22	FMOD 23	FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23	
	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21	FMOD 20	FMOD 21	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21	
	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19	FMOD 18	FMOD 19	FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19	
	FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16	FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17	
	FMOD 14 FMOD 15	FMOD 14 FMOD 15	FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15	EMOD 12	EMOD 12	FMOD 12 FMOD 13		FMOD 14 FMOD 15	
	FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11	FMOD 10	FMOD 11	FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11	
	FMOD 8 FMOD 9	FMOD 8 FMOD 9	FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9	FMOD 8	FMOD 9	FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9	
	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6	FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7	
	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4	FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5	
	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3	FMOD 2	FMOD 3	FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3	
	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	FMOD 0	FMOD 1	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	
	NEM Slot 0	NEM Slot 1					NAC				
SAS NEM NEM-2	1	SAS NEM NEM-2					name:	-			
EXT 0	EXT 1 EXT 2 EXT 3	EXT 0 EXT 1 EXT 2	EXT 3				WWN:	-	_		

▼ Quick Setup を使用して Web インタフェースでシャーシの初期ストレージ構成を作成する

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

- 1. Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。5-68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Quick Setup」ボタンをクリック します。

警告メッセージが表示されます。

?	This setup tool is helpful in getting a new chassis of blades configured with access to shared storage resources. If there are zoning assignments already existing, quick setup will OVERWRITE those existing settings, and may cause interruption of disk I/O traffic currently in progress between server blades and shared storage.
	Click OK if you wish to continue with Quick Setup.
	OK Cancel

3. 既存のゾーン機能を上書きする場合は「OK」をクリックします。

「Quick Setup」画面が表示されます。

Quick Se	ətup															
select how	you would	like all chass	is storage	resources	allocated	and click	'Save'.									
01. As	sign per ind	ividual disks.	02.A	ssign per	adjacent ir	ndividual	disks.									
3. As	sign per sto	rage blade.	04. A	ssign per	adjacent s	torage bl	ade.									
Save																
				SUM	BLADE	5000 MO	DULAR S	YSTEM -	SUNCMM-00	00000-0000	000000		,			
Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Bla SUN BLADI MODULE M	ot 1 ade E STORAGE	Storage SUN BL/ STORAG MODULE	ot 2 Blade ADE BE E M2	Slot 3 (empty)	Storage SUN BL STORAG MODULE	Blade NDE E M2	Slot 5 Server Blade Sun Blade	Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2		Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2		Storage SUN BL/ STORAG MODULE	Blade ADE BE E M2	Storage SUN BLA STORAG MODULE	bt 9 Blade DE E M2
(6270 M2	HDD 6 H	IDD 7	HDD 6	HDD 7		HDD 6	HDD 7	T6340 Server	HDD 6 H	DD 7	HDD 6	HDD 7	empty	empty	HDD 6	HDD 7
MODULE	HDD 4 H	IDD 5	HDD 4	HDD 5		HDD 4	HDD 5	Module	HDD 4 H	DD 5	HDD 4	HDD 5	empty	empty	HDD 4	HDD 5
	HDD 2 H	IDD 3	HDD 2	HDD 3		HDD 2	HDD 3		HDD 2 H	DD 3	HDD 2	HDD 3	empty	empty	HDD 2	HDD 3
	HDD 0 H	IDD 1	HDD 0	HDD 1		HDD 0	HDD 1]	HDDOH	empty empty	HDD 0	HDD 1	HDD 0	HDD 1	HDD 0	HDD 1
ľ	empty	empty			impty impty				empty							
	empty	empty	empty	empty		empty	empty		empty		empty	empty	empty	empty	empty	empty
	empty	empty	empty	empty		empty	emoty		empty	empty	empty	ompty	empty	emoty	emoty	emoty
	empty	empty	emoty	empty		empty	emoty		empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty	emoty
	empty	empty	empty	empty		empty	empty		empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	FMOD 12	FMOD 13	empty	empty		empty	empty		FMOD 12	FMOD 13	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	FMOD 10	FMOD 11	empty	empty		empty	empty		FMOD 10	FMOD 11	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	FMOD 8	FMOD 9	empty	empty		empty	empty		FMOD 8	FMOD 9	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	FMOD 6	FMOD 7	empty	empty		empty	empty		FMOD 6	FMOD 7	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	empty	empty	empty	empty		empty	empty		empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	empty	empty	empty	empty		empty	empty		empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty
	ompty	empty	empty	empty		empty	empty		empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty	empty

ストレージデバイスが接続されていない HDD スロットまたは FMOD スロットは 「empty」と表示されます。また、このようなスロットは Quick Setup の構成に は含まれません。 4. Quick Setup のいずれかのオプションを選択します。

各オプションの説明については、74 ページの「Quick Setup のオプション」を参照してください。

オプションを選択すると、画面に CPU ブレードおよびストレージデバイス (HDD と FMOD) との間で色分けされたゾーン機能の割り当てが表示されます。Sun Blade Zone Manager によって NEM0 と NEM1 の外部 SAS 接続が割り当てられますが、この接続は正式にはサポートされていません。

注 – 「Save」ボタンをクリックするまで、構成は保存されません。

- 5. 「Save」ボタンをクリックして構成を保存します。 構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレー ジアクセス構成の保存」を参照してください。
- 構成をバックアップします。
 103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

Detailed Setup を使用したシャーシのストレージ アクセス構成の作成

Detailed Setup の「New Assignments」オプションを使用して、シャーシのストレー ジアクセス構成を手動で作成できます。

注 – ターゲット NEM0 および NEM1 は、これらの NEM が接続されると Zone Manager に表示されますが、この時点では Sun Blade Zone Manager の外部 SAS 接続はサポートされません。

▼ Detailed Setup を使用して Web インタフェースで シャーシのストレージ構成を作成する

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

シャーシのストレージ構成を設定していない場合には、次のメッセージが表示されます。



3. 次のいずれかの手順を実行します。

- Detailed Setup で設定を行う場合は、「Cancel」をクリックします。
 「Cancel」をクリックすると、「Detailed Setup」ページが開きます。
- Quick Setup で元の構成を設定する場合には、「OK」をクリックします。
 「OK」をクリックすると、「Quick Setup」ページが開きます。Quick Setup の詳細については、73ページの「Quick Setup を使用したシャーシのストレージアクセス構成の作成」を参照してください。

Zoning Config

The current access permission assignments are displayed below. Click New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click 'Modify Group' to make changes to that selected group.

New Assignments Modify Group

			SUN BLADE	6000 MOD	ULAR SYSTEM - bur_02	2_core_ilon	n		
Slot 0 Server Blade	Stot 1 Storage Blade Storage Blade Storage Blade MDDULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 1 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 11 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 0 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 0 FMOD 05 FMOD 0 FMOD 05 FMOD 0 FMOD 05 FMOD 2 FMOD 0 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 10	Slot 2 Server Blade	Slot 3 Storage Blade Storage Blade Storage Blade WBLADE STORAGE HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 19 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 13	Slot 4 Server Blade	Slot 5 Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade MDDULE,M2 HD0 6 HD0 2 HD0 0 FMOD 0 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 0 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 0	Slot 6 Server Blade	Slot 7 Storage Blade Storage Blade Storage Blade MD04E M2 HD0 6 HD0 7 HD0 2 HD0 3 HD0 0 HD0 1 FMOD 2 FMOD 22 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 0 FMOD 11 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 0 FMOD 03 FMOD 0 FMOD 11 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 13	Slot 8 Server Blade	Slot 9 Storage Blade Storage Blade MODULE M2 HD0 6 HD0 7 HD0 4 HD0 5 HD0 2 HD0 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 16 FMOD 19 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 5 FMOD 1 FMOD 0 FMOD 1
SAS NEM NEM-2		NEM SAS NEM IEM-2	I Slot 1		N/ Di	AC name: isk type: IWN:	-		
		CAT O CAT							

- 4. 「New Assignments」ボタンをクリックします。
- 5. サーバーブレードをクリックし、次にそのサーバーブレードに割り当てる HDD または FMOD をクリックします。または、複数のサーバーブレードを選択して、 この割り当てを行います。

ストレージデバイスが接続されていない HDD スロットまたは FMOD スロットは「empty」と表示されます。このようなスロットはサーバーブレードに割り当てることができません。



注意 - 複数のサーバーブレードに HDD または FMOD を割り当てる場合は、サー バーブレードのマルチパス化が有効になっていることを確認してください。詳細につ いては、95 ページの「Web インタフェースを使用して複数のサーバーブレードをス トレージデバイスに割り当てる」を参照してください。 Sun Blade Zone Manager によって NEM0 と NEM1 の外部 SAS 接続が割り当てられますが、この時点ではサポートされません。

New Ass	New Assignment											
Click on co	mponents to include in	a new acces	s group and click 'Save	ə'.								
Save	Cancel											
_			SUN BLADE	6000 MODU	JLAR SYSTEM - SUN	CMM-000000	-000000000					
Stot 0 Server Blade Sun BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 4 Slot 34 Slot	Slott 2 Server Blade SUN BLADE XEZ70 M2 SERVER MODULE	Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 5 HDD 2 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 14 FMOD 9 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 10 F	Slot 4 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Stot 5 Storage Blade SUN BLACE STORAGE MODDLE M2 HD0.6 HD0.7 HD0.6 HD0.7 HD0.4 HD0.5 HD0.0 HD0.7 HD0.0 HD0.7 Select all FMOD 22 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 12 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 17 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 8 FMOD 7 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 9 FMOD 7 FMOD 4 FMOD 7 FMOD 5 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 7 <t< td=""><td>Slot 6 Server Blade SIN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE</td><td>Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 2 FMOD 22 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3</td><td>Slot 8 Server Blade Sun Blade Sun Blade Server MCDULE</td><td>Stot 9 Stot 39 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 7 HDD 7 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 1 HDD 1 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 Select all FMOD 22 FMOD 23 FMOD 23 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 13 FMOD 13 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 10</td></t<>	Slot 6 Server Blade SIN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 2 FMOD 22 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3	Slot 8 Server Blade Sun Blade Sun Blade Server MCDULE	Stot 9 Stot 39 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 7 HDD 7 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 1 HDD 1 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 Select all FMOD 22 FMOD 23 FMOD 23 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 13 FMOD 13 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 10			
	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	-	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1			
	-		1	S2		NAC name	-	01 - 111 1				
SAS NEM	EM Slot 0	NEM AS NEM	Slot 1			nac name:	-					
NEM-2	NE	M-2				MAAAA	-					
EXT 0 EX	T 1 EXT 2 EXT 3 E	XT 0 EXT 1	EXT 2 EXT 3				-					

6. 「Save」をクリックして構成を保存します。

構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の保存」を参照してください。

New As:	signments Modify (Group								
Slot 0 Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MDDULE, M2 HDD 6 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 1 FMOD 22 FMOD 20 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 10	Slot 2 Server Blade XM3 BLADE XM2 DV XM2 DV	SUN BLADE Storage Blade SUN BLADE STORAGE MDD 6 HDD 7 HDD 6 HDD 7 HDD 7 HDD 8 HDD 9 HDD 7 HDD 0 HDD 7 HDD 0 HDD 7 HDD 0 HDD 7 FMCD 2 FMCD 2 FMCD 20 FMCD 21 FMCD 18 FMCD 19 FMCD 14 FMCD 15 FMCD 15 FMCD 10 FMCD 16 FMCD 13 FMCD 17 FMCD 10 FMCD 18 FMCD 13 FMCD 10 FMCD 14 FMCD 10 FMCD 15 FMCD 10 FMCD 16 FMCD 10 FMCD 17 FMCD 10 FMCD 16 FMCD 10 FMCD 17 FMCD 10 FMCD 16 FMCD 2 FMCD 17 FMCD 10 FMCD 16 FMCD 2 FMCD 17 FMCD 3 FMCD 17 FMCD 4 FMCD 5 FMCD 5 FMCD 17 <th>5000 MODU Stot 4 Server Blade Sun BLAGE Server MODULE</th> <th>LLR SYSTEM - SUN Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 1 FM00 22 FM00 23 FM00 22 FM00 24 FM00 24 FM00 25 FM00 26 FM00 26 FM00 18 FM00 19 FM00 14 FM00 15 FM00 15 FM00 17 FM00 16 FM00 17 FM00 17 FM00 18 FM00 10 FM00 11 FM00 11 FM00 15 FM00 10 FM00 10 FM00 10 FM00 11 FM00 2 FM00 2 FM00 2 FM00 3 FM00 0 FM00 1</th> <th>Server Server Elade Sun BLAC Sun</th> <th>-000000000 Slot 72 Slot 81ade Slut 81ade Slut 81ade Slut 81ade HD0 6 HD0 7 HD0 8 HD0 9 FM00 22 FM00 18 FM00 18 FM00 19 FM00 10 FM00 11 FM00 12 FM00 13 FM00 14 FM00 15 FM00 16 FM00 17 FM00 18 FM00 19 FM00 10 FM00 10 FM00 2 FM00 5 FM00 1 FM00 1 FM00 1 FM00 1 FM00 2 FM00 3 FM00 4 FM00 1</th> <th>Słot 8 Server Blade Sun BuAos Xegzo M2 Segrova MODULE</th> <th>Storage Storage <t< th=""><th>Image: store Image: store 12 2 DD 7 DD 5 DD 3 DD 3 DD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 3 FMOD 1 FMOD 4 FMOD 1 FMOD 5 FMOD 1</th></t<></th>	5000 MODU Stot 4 Server Blade Sun BLAGE Server MODULE	LLR SYSTEM - SUN Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge Stor 3ge HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 1 FM00 22 FM00 23 FM00 22 FM00 24 FM00 24 FM00 25 FM00 26 FM00 26 FM00 18 FM00 19 FM00 14 FM00 15 FM00 15 FM00 17 FM00 16 FM00 17 FM00 17 FM00 18 FM00 10 FM00 11 FM00 11 FM00 15 FM00 10 FM00 10 FM00 10 FM00 11 FM00 2 FM00 2 FM00 2 FM00 3 FM00 0 FM00 1	Server Server Elade Sun BLAC Sun	-000000000 Slot 72 Slot 81ade Slut 81ade Slut 81ade Slut 81ade HD0 6 HD0 7 HD0 8 HD0 9 FM00 22 FM00 18 FM00 18 FM00 19 FM00 10 FM00 11 FM00 12 FM00 13 FM00 14 FM00 15 FM00 16 FM00 17 FM00 18 FM00 19 FM00 10 FM00 10 FM00 2 FM00 5 FM00 1 FM00 1 FM00 1 FM00 1 FM00 2 FM00 3 FM00 4 FM00 1	Słot 8 Server Blade Sun BuAos Xegzo M2 Segrova MODULE	Storage Storage <t< th=""><th>Image: store Image: store 12 2 DD 7 DD 5 DD 3 DD 3 DD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 3 FMOD 1 FMOD 4 FMOD 1 FMOD 5 FMOD 1</th></t<>	Image: store Image: store 12 2 DD 7 DD 5 DD 3 DD 3 DD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 1 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 3 FMOD 1 FMOD 4 FMOD 1 FMOD 5 FMOD 1
N BAS NEM NEM-2 EXT 0 EX	EM Slot 0	NEM AS NEM EM-2	Slot 1	1		NAC name: Disk type: WWN:	-	1		

7. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

CLI を使用したシャーシのストレージ構成の作成

シャーシのストレージ構成は、ストレージをサーバーブレードに割り当てるか、サー バーブレードをストレージデバイスに割り当てることで作成できます。いずれの方法 でも同じ結果が得られます。

▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を作成する

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

- 2. 次のいずれかの方法でシャーシのストレージ構成を作成します。
 - 方法 1: ストレージモジュールデバイスをサーバーブレードに割り当てるために、次のコマンドを使用します
 - -> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn
 - -> **set add_storage_access=**path_to_storage_device

ここでは、BLn はサーバーブレード、path_to_storage_device はそのブレードに 割り当てるストレージデバイスのパスを表します。(/CH/BL1/HDD0 など)。

■ 方法 2: サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てるために、

次のいずれかのコマンドを実行します。

-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn

または

-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn

さらに次のコマンドを実行します。

-> **set add_host_access=***path_to_blade_server*

ここでは、BLn はストレージブレード、HDDn および FMODn はそのストレー ジブレードに取り付けられているストレージデバイス、path_to_blade_server は そのストレージデバイスに割り当てるサーバーのパスを表します。(/CH/BL0 など)。

次の例では、上記のコマンドを使用して、スロット1にあるストレージブレード のストレージデバイスと、スロット0にあるサーバーブレードとの間にゾーンを 設定する方法について説明します。 方法1-ストレージモジュールデバイスをサーバーブレードに割り当てるための コマンドの例。

コマンド	説明
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL0	cd コマンドを実行して、ストレー ジを割り当てるホストサーバーブ レードにアクセスします。
-> set add_storage_access=/CH/BL1/HDD0	ブレードスロット 1 にあるストレー ジモジュールの HDD0 を現在のホ ストに割り当てます。
-> set add_storage_access=/CH/BL1/FMOD0	ブレードスロット 1 にあるストレー ジモジュールの FMOD0 を現在のホ ストに割り当てます。
-> set add_storage_access= /CH/BL1/HDD0,/CH/BL1/FMOD0	単一のコマンド行で複数のデバイ スを割り当てます。デバイスへのフ ルパスを指定し、各デバイスはコン マで区切ります (スペースなし)。
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL0 Targets:	show コマンドを実行して、現在の ホストに割り当てられているデバイ スを確認します。
0 (/CH/BL1/HDD0) 1 (/CH/BL1/FMOD0)	

■ 方法 2 – サーバーブレード (BL 0) をストレージモジュールデバイス (BL1/HDD0、BL1/FMOD0) に割り当てるためのコマンドの例。

コマンド	説明
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL1/HDD0	cd コマンドを実行して、ストレージモ ジュールデバイス (この場合は BL1/HDD0) にアクセスします。
-> set add_host_access=/CH/BL0	ストレージモジュールの現在のデバイス (HDD0) をブレードスロット 0 のホスト に割り当てます。
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL1/HDD0	show コマンドを実行して、現在のデバ イスの割り当てを確認します。
Targets:	
0 (/CH/BL0)	

コマンド	説明
-> cd /STORAGE/sas_zoning/BL1/FMOD0	cd コマンドを実行して、ストレージの モジュールデバイス (この場合は BL1/FMOD0) にアクセスします。
-> set add_host_access=/CH/BL0	ストレージモジュールの現在のデバイス (FMOD0) をブレードスロット 0 のホス トに割り当てます。
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL1/FMOD0 Targets:	show コマンドを実行して、現在のデバ イスの割り当てを確認します。
0 (/CH/BL0)	

3. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

シャーシのストレージアクセス構成の表 示または変更

Web インタフェースで Detailed Setup を使用するか、CLI を使用して、シャーシの 現在のストレージアクセス構成を表示または変更ができます。

次の表に示されているいずれかの手順を実行して、現在のストレージ構成を表示また は変更します。

タスク	リンク
Web インタフェースを使用して現在 のストレージ構成を表示および変更 する	87 ページの「Web インタフェースを使用して シャーシのストレージ構成を表示および変更する」
CLI を使用して現在のストレージ構 成を表示および変更する	93 ページの「CLI を使用してシャーシのストレー ジ構成を表示および変更する」
複数のサーバーブレードをストレー ジデバイスに割り当てる	95 ページの「Web インタフェースを使用して複数 のサーバーブレードをストレージデバイスに割り当 てる」
ストレージ構成を表形式で表示する	99 ページの「Web インタフェースを使用してスト レージアクセス構成表を表示する」

▼ Web インタフェースを使用してシャーシのスト レージ構成を表示および変更する

開始する前に:シャーシの構成が、67ページの「サポートされるハードウェアおよび ファームウェアの構成」の要件を満たしていることを確認します。

1. Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

シャーシの現在のゾーン構成が表示されます(次の図を参照)。



注 – ストレージデバイスが接続されていない HDD スロットまたは FMOD スロット は「empty」と表示されます。このようなスロットはサーバーブレードに割り当てる ことができません。

ブレードまたはストレージのグループを変更するには、このグループを構成する ブレードを選択します。

グループに割り当てられているストレージが強調表示されます。

Zoning Co	nfig	_	_	_	_	_	_	_	_
The current a which it has	access permi: access assig	ssion assignments are ned, then click 'Modify G	displayed bel roup' to make	ow. Click 'New changes to ti	v Assignments' to make hat selected group.	e new access (groupings. Or, click on	any compone	nt to select all those to
New Assi	gnments	Modify Group							
			SUN E	LADE 6000 M	ODULAR SYSTEM - SU	NCMM-00000	00000000000		
Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9
Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	SUN BLADE STORAGE
SUN BLADE X6270 M2	SUN BLADE	MODULE M2	SUN BLADE	SUN BLADE	MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2	MODULE M2	SUN BLADE X6270 M2	MODULE M2
SERVER MODULE	SERVER MODULE	TODE TODE	SERVER	SERVER	HOD & HOD 7	SERVER MODULE	HDD 6 HDD 7	SERVER MODULE	
		TODE TODE			HDD 2 HDD 3		HDD 3 HDD 3		HDD 2 HDD 3
		TODE TODE			HOD 2 HOD 3		HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3
					noo noo i		nee o mee r		noo o noo r
		FMOD 22 FMOD 23			FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23
		FMOD 20 FMOD 21			FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21
		FMOD 18 FMOD 19			FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19
		FMOD 16 FMOD 17			FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17
		FMOD.14 FMOD.15			FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15
		FMOD 12 FMOD 13			FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13
		FMOD 10 FMOD 11			FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11
		FMOD 8 FMOD 9			FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9
		FMOD 6 FMOD 7			FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7
		FMOD 4 FMOD 5			FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5
		FMOD 2 FMOD 3			FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3
		FMOD 0 FMOD 1			FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1
NE	M Slot 0	NEM SI	ot 1	1		NAC name:	-		
SAS NEM		SAS NEM				Disk type:	-		
EXT 0 EXT	1 EXT 2 EX	EXT 0 EXT 1 E	XT 2 EXT 3			WWN:	-		
				J					

4. 「Modify Group」ボタンをクリックします。

選択したグループはまだ強調表示されたままです。

グループのストレージデバイスを削除するには、そのストレージデバイスをクリックします。

次の図は、スロット1のプロセッサブレードから割り当てを解除するために選択 された HDD 4-7 と FMOD 18-23 を示しています。

Modify Gr Indicated be any compon Save	oup low is your se ents outside t Cancel	lected group of compor he group that you want	nents that curr added. When	ently have ass you are ready	igned access. Click or to apply the changes, c	those within th lick 'Save'.	ne group that you would	d like to remov	e access to. Click on
Stot 0 Server Blade SUB BLADE XERVER MODULE	Slot 1 Blade Sun BlADE X8270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade Storage Blade SUN BLACE STORAGE MCOOLLE M2 HDO 6 HDO 7 HDO 1 HDO 7 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 20 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 12 FMOD 11 FMOD 13 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 19 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 13	SUN E Sorver Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	SLADE 6000 M Stot 4 Sanver Blade Sun BLADE XK270 M2 SERVER MODULE	END DULAR SYSTEM - SU Storage Blade HD6 6 HD7 HD8 6 HD0 2 HD0 4 HD0 2 FM00 20 FM00 20 FM00 10 FM00 18 FM00 16 FM00 17 FM00 18 FM00 19 FM00 10 FM00 10	NCMM-000000 Server Blade SUNBLADE X8270 M2 SERVER MODULE	BO-000000000 Slot 7 Slorage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 8 HDD 1 FMOD 12 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Stot 9 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 2 HDD 2 HDD 2 HDD 2 HDD 2 HDD 2 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 10
NE SAS NEM NEM-2 EXT 0	M Slot 0	NEM SIAS NEM NEM-2 EXT 0 XTT E	ot 1 EXT 2 EXT 3			NAC name: Disk type: WWN:	-		

- 6. 「Save」をクリックして、グループからストレージデバイスを削除します。 構成を保存した時の結果の詳細については、101 ページの「シャーシのストレー ジアクセス構成の保存」を参照してください。
- 7. 追加でストレージの割り当てを行わない場合は、構成をバックアップします。
 103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

8. 新規にストレージグループの割り当てを行うには、「New Assignments」ボタンを クリックします。

Zoning Co	onfig		_	_		_	_	_	
The current a which it has	access permis access assign ignments	ssion assignments are ned, then click 'Modify G Modify Group	displayed be roup' to make	low. Click "Nev e changes to ti	v Assignments' to make hat selected group.	e new access (groupings. Or, click on	any compone	nt to select all those to
Stot 0 Server Blade Sun BLADE Xe270 M2 SERVER MODULE	Stot 1 Server Blade Sun BLADE Skarver Module	Slot 2 Storage Blade UU BLADE STORAGE MODULE MR HDD 6 HDD 7 HDD 6 HDD 7 HDD 7 HDD 7 HDD 8 HDD 7 HDD 9 FMDD 23 FMOD 20 FMDD 23 FMOD 10 FMDD 12 FMOD 16 FMDD 17 FMOD 10 FMDD 18 FMOD 10 FMDD 19 FMOD 10 FMDD 19 FMOD 10 FMDD 19 FMOD 10 FMDD 19 FMOD 10 FMDD 10 FMOD 10 FMDD 11 FMOD 10 FMDD 12 FMOD 10 FMDD 17 FMOD 10 FMDD 10 FMOD 10 FMDD 11 FMOD 2 FMDD 2 FMD0 4 FMD0 5 FMD0 5 FMDD 3 FMD0 5 FMDD 11 FMD0 6 FMDD 3 FMD0 7 FMDD 3 FMD0 7 FMDD 3	SUNE Stora Biade Biade Sun Blade Segro M2 Segro	SLADE GOOD M Stot 4 Berver Biade Sun BLADE XR270 M2 Server MODULE	Stot 5 Stot 5 Storage Blade Sun Experimental Sun Experimental HDD 7 HDD 6 HDD 7 HDD 2 HDD 3 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 12 FMOD 16 FMOD 15 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 18 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 18 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1 FMOD 0 FMOD 1	NCMM-000000 Slot 6 Server Blade Sub BLADE SUB BLADE X8270 M2 SERVER MCDULE	0-00000000000000000000000000000000000	Slot 8 Server Blade Sun BLADE X4270 M2 SERVER MODULE	Stot 9 Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade HDD 6 HDD 7 HDD 6 HDD 7 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 18 FMOD 11 FMOD 16 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 9 FMOD 10 FMOD 9 FMOD 2 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 13
NEI SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT	M Slot 0	SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 E	ot 1 XT 2 EXT 3			NAC name: Disk type: WWN:	-		

9. グループに追加するサーバーブレードおよびストレージデバイスをクリックします。

次の例では、選択したストレージグループが緑色で強調表示されています。

New Assig	Inment								
Click on com	ponents to in	clude in a new access (group and clic	k 'Save'.					
(Cana)	Canada								
Save	Cancel								
			SUME	ADE 6000 M	IODULAD SYSTEM CIL	NCHIN 00000	0.000000000		
Slat 0	Clot 4	Slat 2	Slot 2	Stat d	Slot E	Stat 6	Slot 7	Clot 0	Slot 0
Server	Server	Storage Blade	Server	Server	Storage Blade	Server	Storage Blade	Server	Storage Blade
Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Blade	Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Blade	SUN BLADE STORAGE	Blade	SUN BLADE STORAGE MODULE M2
X6270 M2	X6270 M2	HDD 6 HDD 7	X6270 M2	X6270 M2	HDD 6 HDD 7	X6270 M2	HDD 6 HDD 7	X6270 M2	HDD 6 HDD 7
MODULE	MODULE	HDD 4 HDD 5	MODULE	MODULE	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5	MODULE	HDD 4 HDD 5
		HDD 2 HDD 3			HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3		HDD 2 HDD 3
		HDD 0 HDD 1			HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1		HDD 0 HDD 1
		[select all]			[select all]		[select all]		[select all]
		FMOD 22 FMOD 23			FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23		FMOD 22 FMOD 23
		FMOD 20 FMOD 21			FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21
		FMOD 18 FMOD 19			FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19		FMOD 18 FMOD 19
		FMOD 16 FMOD 17			FMOD 16 FMOD 17		FMOD 18 FMOD 17		FMOD 16 FMOD 17
		FMOD 14 FMOD 15			FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15		FMOD 14 FMOD 15
		FMOD 12 FMOD 13			FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13		FMOD 12 FMOD 13
		FMOD 10 FMOD 11			FMOD 18 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11
		FMOD 8 FMOD 9			FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9		FMOD 8 FMOD 9
		FMOD 6 FMOD 7			FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7		FMOD 6 FMOD 7
		FMOD 4 FMOD 5			FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5		FMOD 4 FMOD 5
		FMOD 2 FMOD 3			FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3		FMOD 2 FMOD 3
		FMOD 0 FMOD 1			FMOD 0 FMOD 1		FMOD 8 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1
				1		-			
SAS NEM	M Slot 0	SAS NEM	1 1			NAC name:	-		
NEM-2		NEM-2				www.	-		
EXT 0 EXT	1 EXT 2 EX	T3 EXTO EXT1 E	XT 2 EXT 3				<u> </u>		

10. 「Save (保存)」をクリックします。

これで、HDD 4-7 と FMOD 18-23 がスロット 0 に割り当てられます。

which it has access assign	sion assignments are ed, then click 'Modify G	displayed bel roup' to make	low. Click 'Nev changes to th	v Assignments' to make hat selected group.	e new access (groupings. Or, click on	any compone	nt to select all those to
New Assignments	Modify Group	cimi	ADT SOOD M	IODULAD SYSTEM - SU				
Slot 0 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SCURE MODULE SUN BLADE SUN	Siot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE HOD 6 HOD 7 HOD 4 HOD 5 HDD 0 HOD 1 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 2 FMOD 20 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 11 FMOD 13 FMOD 12 FMOD 14 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 11 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 3 FMOD 12 FMOD 4 FMOD 15 FMOD 5 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 14 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 10	Slot 3 Server Blade SUII BLADE XESTOR SERVER MCDULE	Stot 4 Server Blade Blade Star Sun BLADE XEZTO M2 SERVER MCOULE	Slot 5 Storage Blade UN BLADE STORAGE HOD 6 HDD 7 HOD 4 HDD 5 HOD 2 HDD 0 HOD 0 HDD 7 HOD 2 HDD 2 FMOD 2 FMOD 22 FMOD 0 HDD 1 FMOD 10 FMOD 12 FMOD 11 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 13 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 18 FMOD 13 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1	Stot 6 Berver Blade SUN BLADE XEZTO KA SECURA MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 2 FMOD 1 FMOD 12 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 16 FMOD 13 FMOD 17 FMOD 14 FMOD 18 FMOD 15 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 5 FMOD 5 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 14 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 3 FMOD 10	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Stor 9 Storage Blade Storage Blade Storage Blade MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 6 HDD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 2 FMOD 18 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 5 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 0 FMOD 0 FMOD 0
NEM Slot 0 SAS NEM NEM-2 EXT 0 EXT 1 EXT 2 EXT	NEM SIO SAS NEM NEM-2 3 EXT 0 EXT 1 EX	t 1			NAC name: Disk type: WWN:	-		

11. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

▼ CLI を使用してシャーシのストレージ構成を表示 および変更する

開始する前に: Quick Setup または Detailed Setup を使用して、シャーシの初期 のゾーン構成を設定します。73 ページの「シャーシのストレージアクセス構成の 作成」を参照してください。

1. CLI を使用して Zone Manager にアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

 サーバーブレードへのストレージデバイスの割り当てを表示するには、サーバー ブレード単位またはストレージモジュール単位のいずれでも表示することができ ます。

次の例では、スロット2にあるストレージブレードの HDD0 と FMOD0 がスロット0にあるサーバーブレードに割り当てられています。

サーバーブレード単位でストレージの割り当てを表示するには、ホストブレードの SAS ゾーンのディレクトリを指定して show コマンドを実行します。例:

```
-> show /STORAGE/sas_zoning/BL0
Targets:
0 (/CH/BL2/HDD0)
1 (/CH/BL2/FMOD0)
```

この例では、スロット2にあるストレージブレードの HDD0 と FMOD0 がス ロット0にあるサーバーブレードに割り当てられています。

 ストレージデバイス単位でストレージの割り当てを表示するには、そのストレージデバイスについて、ストレージブレードの SAS ゾーンのディレクトリを 指定して show コマンドを実行します。例:

```
-> show /STORAGE/BL2/HDD0
Targets:
0 (/CH/BL0)
-> show /STORAGE/BL2/FMOD0
Targets:
0 (/CH/BL0)
```

3. ストレージ割り当てを変更します。

サーバーブレードへのストレージデバイスの割り当ての変更や、ストレージデバ イスへのサーバーブレードの割り当ての変更ができます。いずれの方法でも同じ 結果が得られます。

方法 1: サーバーブレードへのストレージのアクセスを追加または削除します。

- ストレージモジュールをサーバーブレードに割り当てるには、次のコマンドを 実行します。
 - -> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn
 - -> **set add_storage_access=**path_to_storage_device
- ストレージモジュールをサーバーブレードから削除するには、次のコマンドを 実行します。
 - -> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn
 - -> **set remove_storage_access=**path_to_storage_device

ここでは、BLn はサーバーブレード、path_to_storage_device はそのブレードに割 り当てるストレージデバイスのパスを表します。(/CH/BL1/HDD0 など)。

方法 2: ストレージブレードへのサーバーブレードのアクセスを追加または削除します。

サーバーブレードをストレージデバイスに割り当てるには、

次のいずれかのコマンドを実行します。

-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn

または

-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn

さらに次のコマンドを実行します。

- -> **set add_host_access=***path_to_blade_server*
- サーバーブレードをストレージデバイスから削除するには、
 次のいずれかのコマンドを実行します。
 - -> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/HDDn

または

-> cd /STORAGE/sas_zoning/BLn/FMODn

さらに、次のコマンドを実行します。

-> **set remove_host_access=**path_to_blade_server

ここでは、BLn はストレージブレード、HDDn および FMODn はそのストレージ ブレードに取り付けられているストレージデバイス、path_to_blade_server はその ストレージデバイスに割り当てるサーバーのパスを表します。(/CH/BL0 など)。

注 – また、単一のコマンド行で複数のデバイスを追加または削除することも可能で す。デバイスへのフルパスを指定し、各デバイスはコンマで区切ります (スペースな し)。たとえば、-> set add_storage_access=/CH/BL1/HDD0,/CH/BL1/FMOD0 と入力します。

4. 構成をバックアップします。

103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。

▼ Web インタフェースを使用して複数のサーバー ブレードをストレージデバイスに割り当てる

Sun Blade Zone Manager では、複数のサーバーブレードを1つのストレージデバイ スに割り当てることができます。このオプションは、クラスタ化シナリオでのみ使用 します。詳細については、ブレードストレージモジュールの管理マニュアルを参照し てください。

注 – 他のサーバーとストレージを共有するようにサーバーモジュールが有効化され ているかどうかについては、サーバーブレードのドキュメントを確認してください。

- Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。
 5-68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

次の例では、ストレージモジュールのスロット2にある HDD8 は、スロット0の サーバーブレードのみに割り当てられています。

Zoning Config

The current access permission assignments are displayed below. Click New Assignments' to make new access groupings. Or, click on any component to select all those to which it has access assigned, then click Modify Group' to make changes to that selected group.

New Assignments Modify Group

			SUN B	LADE 6000 M	ODULAR SYSTEM - SU	NCMM-000000	000000000000000000000000000000000000000		
Slot 0 Server Blade Sun BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Server Blade Sun BLACE X8270 M2 DERVER MODULE	Slot 2 Storage Blade Storage Blade WODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 24 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 18 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 3	Slot 3 Gerver Blade Sun BLAC X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 4 Berver Blade Sun Eubot X677 M2 Berver MODULE	Slot 5 Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade WB EADE STORAGE MOD 2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 3 HDD 0 HDD 1 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 16 FMOD 19 FMOD 12 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 2 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 10	Slot 6 Berver Blade Eure Lande Server MCOULE	Siot 7 Storage Blade HD0.6 HD0.7 HD0.4 HD0.5 HD0.4 HD0.5 HD0.2 HD0.2 HD0.4 HD0.5 HD0.2 HD0.2 FMOD 22 FMOD.23 FMOD 10 FMOD.24 FMOD 11 FMOD.19 FMOD 12 FMOD.10 FMOD 13 FMOD.10 FMOD 14 FMOD.15 FMOD 15 FMOD.10 FMOD 16 FMOD.11 FMOD 6 FMOD.12 FMOD 17 FMOD 13 FMOD 18 FMOD.13 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 12 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 11 FMOD 14 FMOD 12 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 16 F	Slot 8 Server Blade Sun BLADE XEZYO M2 SERVER, MCDULE	Slot 9 Storage Blade Storage Blade MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 3 HDD 0 HDD 1 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 16 FMOD 19 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 10 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 16 FMOD 2 FMOD 17 FMOD 10 FMOD 18 FMOD 10 FMOD 19 FMOD 2 FMOD 10 FMOD 3 FMOD 5 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 10
NE SAS NEM	M Slot 0	NEM SI	ot 1	1		NAC name: Disk type:	-		
EXT 0 EXT	1 EXT 2 EX	3 EXT 0 EXT 1 E	XT 2 EXT 3			WWN:	-		

- 3. 「New Assignments」をクリックします。
- 4. スロット 0 のサーバーブレードとスロット 1 のサーバーブレードの両方に HDD6 を 割り当てるには、スロット 1 をクリックし、スロット 2 の HDD6 をクリックします。

Slot 0 Server Blade Blade Blade Sun BLADE SKR70 M2 SERVER MODULE HD0 2 SERVER MODULE HD0 2 SERVER MODULE	Stot 2 Stot 2 © Blade Server Blade Blade FMO K2270 D HDO 7 K2270 D HDO 5 MODUL HDO 1 MODUL HDO 2 FMOO 23	1.3 Slot 4 Server Blade ADE SUN BLADE AZ X6270 M2 SERVER E MODULE	Stot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 3 HDD 0 HDD 1 [select al]	Slot 6 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1	Slot 8 Server Blade SUN BLADE X6270 M2 SERVER MODULE	Storage Blade SUN BLADE STORM MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 1
PMOD PMOD PMOD PMOD PMOD PMOD PMOD PMOD	20 FNOD 21 18 FNOD 19 16 FNOD 17 14 FNOD 15 12 FNOD 13 10 FNOD 11 8 FNOD 9 6 FNOD 7 4 FNOD 5 2 FNOD 3 0 FNOD 1		FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 2 FMOD 17 FMOD 3 FMOD 5 FMOD 4 FMOD 3 FMOD 4 FMOD 3 FMOD 5 FMOD 3		relect all PMOD 22 FMOD 23 PMOD 20 FMOD 21 PMOD 10 FMOD 19 PMOD 16 FMOD 17 PMOD 12 FMOD 15 PMOD 12 FMOD 13 PMOD 10 FMOD 10 PMOD 10 FMOD 10 PMOD 6 FMOD 7 PMOD 2 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 5 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 1		Toelect all FMOD 22 FMOD FMOD 20 FMOD FMOD 10 FMOD FMOD 16 FMOD FMOD 10 FMOD FMOD 10 FMOD FMOD 10 FMOD FMOD 10 FMOD FMOD 4 FMOD FMOD 2 FMOD FMOD 2 FMOD

5. 「Save (保存)」をクリックします。

次のメッセージが表示されます。



6. 「OK」をクリックして続行します。

次の例では、スロット2のHDD6が複数のサーバーブレードによって共有されていることを表すためにピンク色で示されています。

String String<	Zoning Co	onfig	_	_	_	_	_	_	_	_	
New Assignments Modify Group Bit obs: Indicates that the component is accessible by more than one server bade. Stor 0 Briver Brade Sum BLADE Storage Blade Sum BLADE STORAGE Sum BLADE STORA	The current a which it has	access permi: access assig	ssion assignments are ned, then click 'Modify G	displayed bel roup' to make	ow. Click 'Nev changes to th	v Assignments' to make nat selected group.	new access (groupings. Or, click on	any compone	nt to select all those to	
SUN BLADE STORAGE BRYOT Blade SUN BLADE STORAGE SK270 M2 BRYOT Blade SUN BLADE STORAGE SK270 M2 MCOULE M2 Stot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE SUN BLADE STO	New Assignments Modify Group This color indicates that the component is a blade. Diet the component to down which blades									ore than one server	
Skt 0 Server Blade Sun BLADE Storage Blade Sun BLADE Storage Blade Storage Storage Blade Storage Storag							lick the compone		undre decess.		
Slot 0 Berver Blade Slot 1 Server Blade Slot 2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 3 Berver Blade Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 3 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 5 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 6 Storage Blade SUN BLADE Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Slot 6 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 Storage Blade SUN BLADE STORAGE SUN BLADE STORA	SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-000000000										
NEM Slot 0 NEM Slot 1 SAS NEM Disk type: - NEM-2 Ext 0 Ext 1 Ext 2 Ext 3	Slot 0 Server Blade SUN BLADE XERZ70 M2 SERVER MODULE	Stot 1 Server Blade SUN BLADE X4270 M2 SERVER MCDULE	Slot 2 Slotage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HOD 4 HOD 7 HOD 4 HOD 7 HOD 2 HOD 2 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 23 FMOD 20 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 17	Slot 3 Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Stot 4 Server Blade SUN BLADE X&270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Starage Blade Starage Blade SLIN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 7 HDD 8 HDD 9 HDD 1 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 24 FMOD 25 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 17 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 10	Slot 6 Server Blade SUN BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 7 Storage Blade SUN BLADE STORAGE MODULE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 2 HDD 3 HDD 0 HDD 7 FMOD 22 FMOD 23 FMOD 12 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 15 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 13 FMOD 16 FMOD 14 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 18 FMOD 15 FMOD 19 FMOD 10 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 20 FMOD 3 FMOD 14 FMOD 9 FMOD 15 FMOD 11 FMOD 16 FMOD 7 FMOD 17 FMOD 15 FMOD 18 FMOD 9 FMOD 19 FMOD 14 FMOD 14 FMOD 15 FMOD 15 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 17 <td< th=""><th>Shot 8 Server Blade Sun BLADE X270 M2 SERVER MCDULE</th><th>Slot 9 Slot 9 Storage Blade Sum BLADE STORAGE NICOULE M2 HDD 6 HDD 6 HDD 7 HDD 2 FMOD 23 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 2 FMOD 24 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 0 FMOD 14 FMOD 0 FMOD 17 FMOD 0 FMOD 18 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 11</th></td<>	Shot 8 Server Blade Sun BLADE X270 M2 SERVER MCDULE	Slot 9 Slot 9 Storage Blade Sum BLADE STORAGE NICOULE M2 HDD 6 HDD 6 HDD 7 HDD 2 FMOD 23 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 2 FMOD 24 FMOD 20 FMOD 21 FMOD 18 FMOD 19 FMOD 16 FMOD 16 FMOD 12 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 14 FMOD 10 FMOD 13 FMOD 0 FMOD 14 FMOD 0 FMOD 17 FMOD 0 FMOD 18 FMOD 10 FMOD 17 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 2 FMOD 3 FMOD 0 FMOD 11	
NEM Slot U NEM Slot 1 NEM Canadia Pact name: Pact nam: Pact nam: Pact nam					1		MAC nom	1			
NBM-2 NBM-2 <th< td=""><td>SAS NEM</td><td>M Slot 0</td><td>SAS NEM</td><td colspan="2">SAS NEM</td><td></td><td>Disk type:</td><td colspan="3">-</td></th<>	SAS NEM	M Slot 0	SAS NEM	SAS NEM			Disk type:	-			
	NEM-2	1 Date	NEM-2	NEM-2			WWN:	-			
	EXT 0 EXT	T EXT 2 EX	EXTO EXT1 E	x12 EXT3				1			

7. 構成をバックアップします。

5-103 ページの「ストレージアクセス構成のバックアップ」を参照してください。
▼ Web インタフェースを使用してストレージアク セス構成表を表示する

- Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。
 5-68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- Sun Blade Zone Manager」セクションで、「Detailed Setup」ボタンをクリックします。

次の図は、ストレージアクセス構成の例です。

New Assi	gnments	Modify Group	SUNT	31 ADE 6000 N	IODUI AR SYSTEM - SI	INCMM-00000	00-000000000		
Slot 0 Server Blade SUN BLADE XERZ70 M2 SERVER MODULE	Slot 1 Server Blade Sun FLAS X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 2 Storage Blade Storage Blade Storage Blade Storage Blade MODVLE M2 HDD 6 HDD 7 HDD 4 HDD 5 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 HDD 0 HDD 0 HDD 1 FMOD 2 FMOD 23 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 11 FMOD 13 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 10 FMOD 11 FMOD 5 FMOD 7 FMOD 6 FMOD 7 FMOD 7 FMOD 8 FMOD 8 FMOD 9 FMOD 9 FMOD 13 FMOD 4 FMOD 5 FMOD 5 FMOD 5 FMOD 0 FMOD 13	Slot 3 Server Blade Sun BLADE X8270 M2 SERVER MODULE	Stot 4 Gerver Biade Sun BuADE X8270 M2 SERVER MODULE	Slot 5 Storage Blade Storage Blade Model Storage Blade Model Storage Blade Model MD0.6 HD0.7 HD0.6 HD0.7 HD0.4 HD0.5 HD0.2 HD0.3 HD0.0 HD0.1 FMOD.2 FMOD.23 FMOD.0 FMOD.24 FMOD.10 FMOD.21 FMOD.10 FMOD.19 FMOD.14 FMOD.15 FMOD.14 FMOD.13 FMOD.10 FMOD.19 FMOD.2 FMOD.9 FMOD.4 FMOD.9 FMOD.4 FMOD.9 FMOD.2 FMOD.9 FMOD.4 FMOD.9 FMOD.4 FMOD.5 FMOD.2 FMOD.3 FMOD.4 FMOD.3 FMOD.4 FMOD.5 FMOD.4 FMOD.3 FMOD.4 FMOD.3	Slot 6 Berver Blade Sun ELADE X6270 M2 BERVER MCDULE	Slot 7 Storage Blade Storage Blade Hoo 8 HD0 8 HO0 7 HD0 4 HO0 3 HD0 0 HO0 1 FM00 22 FM00 23 FM00 10 FM00 24 FM00 11 FM00 12 FM00 12 FM00 12 FM00 13 FM00 13 FM00 10 FM00 13 FM00 10 FM00 13 FM00 10 FM00 10 FM00 10 FM00 13 FM00 10 FM00 10 FM00 10 FM00 13 FM00 10 FM00 13 FM00 10 FM00 13 FM00 2 FM00 3 FM00 2 FM00 3 FM00 0 FM00 1	Slot 8 Server Blade Sun Duze Kerzo M2 Kerver Module	Storage Blarage Blata HD0 6 HD0 7 HD0 8 HD0 7 HD0 4 HD0 5 HD0 3 HD0 4 HD0 5 HD0 2 HD0 3 HD0 3 HD0 3 HD0 3 HD0 0 HD0 1 FM00 2 FM00 1 FM00 1 FM00 10 FM00 16 FM00 1 FM00 17 FM00 12 FM00 12 FM00 12 <
NEI SAS NEM NEM-2	I Slot 0	NEM SI SAS NEM NEM-2	ot 1			NAC name: Disk type: WWN:	-		

3. サーバーブレードのいずれかのスロットを選択します。

この例では、スロット0が選択されています。

4. 「Current Assignments」表までスクロールダウンします。

選択したサーバーブレードについて、ストレージデバイスのすべての割り当てが 表形式で表示されます。

Current Assignme	ents for /CH/BL0	
Detach Table		
Component	Туре	www
/CH/BL0	Server Blade (Virgo+)	
/CH/NEM0/EXT0	SAS Port	•
/CH/NEM1/EXT0	SAS Port	•
/CH/BL2/HDD6	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD4	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD5	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/HDD7	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557
/CH/BL2/FMOD23	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD21	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD19	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD18	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD20	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337
/CH/BL2/FMOD22	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337

5. 画面の他の部分から表を切り離すには、「Detach Table」をクリックします。

Ш

Current Assignments for /CH/BL0							
Component	Туре	WWN					
/CH/BL0	Server Blade (Virgo+)	-					
/CH/NEM0/EXT0	SAS Port	-					
/CH/NEM1/EXT0	SAS Port	-					
/CH/BL2/HDD6	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557					
/CH/BL2/HDD4	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557					
/CH/BL2/HDD5	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557					
/CH/BL2/HDD7	SAS HDD	80205010:12124556 80205010:12124557					
/CH/BL2/FMOD23	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:333333337					
/CH/BL2/FMOD21	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337					
/CH/BL2/FMOD19	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337					
/CH/BL2/FMOD18	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337					
/CH/BL2/FMOD20	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:33333337					
/CH/BL2/FMOD22	SAS FMOD	80205010:33333336 80205010:333333337					

シャーシのストレージアクセス構成の 保存

この節では、新規または変更したストレージアクセスのゾーン構成を保存する時の重 要な考慮事項と、ストレージアクセスのゾーン構成を保存したときに発生するアク ションが説明されています。

この節では次の内容について説明します。

- 101 ページの「ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項」
- 101 ページの「新規または変更したストレージアクセス構成の保存」

ゾーン構成の保存に関する重要な考慮事項

ストレージアクセス構成を保存する場合は、次の事に留意します。

 構成情報は、SAS-2 NEM とストレージブレードとともに保存されます。ゾーンの ハードウェア構成が変更されると、ゾーン構成が失われることがあります。ゾーン 構成は、保存後すぐにバックアップしてください。103 ページの「ストレージアク セス構成のバックアップ」を参照してください。

ストレージブレードや NEM のコンポーネントのホットプラグを行う影響の詳 細については、ストレージブレードまたは NEM のドキュメントを参照してく ださい。

- 保存処理の進行中に「Zone Manager」ウィンドウを閉じると、ウィンドウが閉じ る前に処理された部分の構成しか保存されません。
- 保存処理の進行中は、ゾーン機能の割り当てに含まれるすべてのコンポーネントの削除や電源再投入を行わないでください。ゾーン構成が正しく保存されなくなります。

新規または変更したストレージアクセス構成の保存

新規または変更したストレージアクセス構成は、ILOM の Web インタフェースまた は CLI を使用して保存することができます。

- Web インタフェースの場合: Quick Setup または Detailed Setup でストレージアク セスの割り当てを行った後、「Save」ボタンをクリックします。
- CLI の場合: set コマンドでストレージ割り当てを実行すると、すぐに構成が保存 されます。

新規構成が保存される時は、次の処理が実行されます。

- Quick Setup では、既存の構成が上書きされます。
- 構成の保存中は、すべてのストレージ制御が無効になります。
- Web インタフェースでは、新しい構成が適用された箇所がチェックマークで示されます。

Quick S	Quick Setup											
Select hov	v you would	like all chassis storag	e resources	allocated a	and click 'Save'.							
🕥 1. As	C 1. Assign per individual disks. C 2. Assign per adjacent individual disks.											
🔿 3. As	C 3. Assign per storage blade. C 4. Assign per adjacent storage blade.											
Save	Save											
Setting z	Setting zoning assignments - please wait											
	SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - SUNCMM-0000000-0000000000											
Slot 0	Slot 1	Slot 2	Slot 3	Slot 4	Slot 5	Slot 6	Slot 7	Slot 8	Slot 9			
Server	Server	Storage Blade	Server	Server	Storage Blade	Storage Blade	Server	Storage Blade	Storage Blade			
SUN BLADE	SUN BLADE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE	SUN BLADE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE	SUN BLADE STORAGE MODULE M2	SUN BLADE STORAGE MODULE M2			
X6270 M2 SERVER	X6270 M2 SERVER	HDD 7	X6270 M2 SERVER	X6270 M2 SERVER	HDD 6	HDD 6 HDD 7	X6270 M2 SERVER		HDD 6 HDD 7			
MODULE	MODULE	HDD 4	MODULE	MODULE	HDD 4 HDD 5		MODULE	HDD 4 HDD 5	HDD 5			
		HDD 2 HDD 3				HDD 2 HDD 3		HDD 3	HDD 2			
					HDD 0 HDD 1	HDD 1		HDD 0	HDD 0 HDD 1			
		FMOD 22 FMOD 23			FMOD 23			FMOD 22	FMOD 22 FMOD 23			
		\odot			FMOD 20	FMOD 20 FMOD 21		FMOD 20 FMOD 21	FMOD 21			
	0	FMOD 18 FMOD 19			FMOD 18 FMOD 19	FMOD 19		\bigcirc	FMOD 18			
	•	FMOD 17	1			FMOD 16		FMOD 16 FMOD 17	FMOD 16 FMOD 17			
		FMOD 14			FMOD 14 FMOD 15	FMOD 14 FMOD 15		FMOD 15				
		FMOD 12 FMOD 13			FMOD 13	\bigcirc		FMOD 12	FMOD 12 FMOD 13			
					FMOD 10	FMOD 10 FMOD 11		FMOD 10 FMOD 11	FMOD 11			
		FMOD 8 FMOD 9			FMOD 8 FMOD 9	FMOD 9			FMOD 8			
		FMOD 7				FMOD 6		FMOD 6 FMOD 7	FMOD 6 FMOD 7			
		FMOD 4			FMOD 4 FMOD 5	FMOD 4 FMOD 5		FMOD 5				
		FMOD 2 FMOD 3			FMOD 3			FMOD 2	FMOD 2 FMOD 3			
					FMOD 0	FMOD 0 FMOD 1		FMOD 0 FMOD 1	FMOD 1			
	NEM Slot 0	NE	M Slot 1			NAC name:	/CH/BL9/	MOD1				
SAS NEM		SAS NEM				Disk type:	SAS					
EXT 0 E	XT 1 EXT 2	EXT 3 EXT 0 EXT	1 EXT 2	EXT 3		WWN:	80205010	33333336 80205010:	33333337			

Web インタフェースでは、ストレージ構成が保存された時点でセットアップ完了のメッセージが表示されます。

1	Set completed.
	ОК

ストレージアクセス構成のバックアップ

ゾーン構成を失い復元が必要になる場合に備えて、構成の保存後にバックアップをし ます。

この節では、次の手順について説明します。

- 103 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成をバックアップファイ ルに保存する」
- 104 ページの「CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイルに保存する」

▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をバッ クアップファイルに保存する

1. 「Quick Setup」画面または「Detailed Setup」画面で構成を保存した後、 「CMM」の「Maintenance」タブをクリックします。

CMM の保守用のサブタブが表示されます。

「Backup/Restore」タブをクリックします。
 「Configuration Backup/Restore」ページが表示されます。

Спазыя	System Information	System Monitoring	Power Management	Storage	Configuration	User Manager	ment	Remote	Maintenance		
Elade 0 Elade 0 Elade 9	Firmware Upgra	de Backup/R	estore Configur	ration Managemer	t Reset Comp	anents :	Snapshot				
	Configuration Backup/Restore										
NEM 0	Perform system co and fill in all requir when restoring a c	nfiguration back ed fields. You ma configuration. Cik	up or restore from t sy choose to supply ik Aun to start the c	his page. Select I a passphrase to r speration.	lackup or Restore encrypt sensitive d	from Operad at a within a l	ion menu. backup fil	Choose a l e or for dec	Panafer Method rypting such data		
	Operati	on: Backup 💌	ĺ.								
	Transfer Meth	od: Browser *	1								
		The downloa	aded file will be save	id according to yo	ur browser setting	ps					
	Baccobraco	_									
	Fasspenase.										
	Confirm Passpre	ase:									
	Bun										

- 3. 「Operation」のドロップダウンリストから「Backup」を選択します。
- 4. バックアップファイルを作成するための情報をページに入力します。

ILOM の「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』を参照し てください。

▼ CLI を使用してゾーン構成をバックアップファイ ルに保存する

- 1. ストレージアクセス構成を設定した後、ディレクトリを /SP/config に変更します。
 - -> cd /SP/config

C

- ユーザーパスワード、SSH 鍵、証明書など、機密性の高いデータをバックアップ する場合は、パスフレーズを指定する必要があります。
 - -> **set passphrase**=passphrase
- 3. バックアップ処理を開始するには、次のコマンドを入力します。

-> set dump_uri=

transfer_method://username:password@ipaddress_or_hostname/directorypath/filename.config 各エントリの内容は次のとおりです。

- *transfer_method* には、tftp、ftp、sftp、scp、http、https を指定できます。
- username は、リモートシステムでのユーザーアカウント名です。(username は、scp、sftp、および ftp では必須です。username は、tftp では使用されず、 http および https では省略可能です)。

- password は、リモートシステムでのユーザーアカウントのパスワードです。 (password は、scp、sftp、および ftp では必須です。password は、tftp では使用されず、http および https では省略可能です)。
- *ipaddress_or_hostname* は、リモートシステムの IP アドレスまたはホスト名です。
- directorypath は、リモートシステムのストレージの位置です。
- filename は、バックアップファイルに割り当てられた名前です。

ILOM の「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手順ガイド』を参照してください。

ゾーン構成の復元

この節では、故障やハードウェア交換で失った、ホストからストレージへのゾーン 構成を復元する方法を説明します。

この節では、次の手順について説明します。

- 105 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元する」
- 108 ページの「CLI を使用してゾーン構成を復元する」

▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成を復元 する

先に、復元するゾーン構成を保存した CMM ILOM 設定のバックアップファイルを作成しておく必要があります。

注 – 上級ユーザーや Oracle の技術者向け: CMM ILOM 設定のバックアップファイ ルは XML ファイルです。CMM ILOM 設定のバックアップファイルが複数あり、 必要なゾーン構成が最新のバージョンに保存されていない場合は、あるファイルか らストレージ割り当てセクションをコピーし、別のファイルに貼り付けることがで きます。この操作を実行するには、復元するゾーン構成がストレージモジュールお よびサーバーブレードと同じ物理スロットにある必要があります。この手順の実行 方法の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手 順ガイド』を参照してください。 1. Web ブラウザを開き、次の URL を入力して CMM にログインします。

http://chassis_sp_ipaddress/

ここでは、*chassis_sp_ipaddress* はシャーシのサービスプロセッサの IP アドレスを 表します。

ILOM のログインページが表示されます。

2. root としてログインします。

CMM ILOM のメインページが表示されます。

Cincasia vi	- **					
To manage a B below.	lade or Chassis Monitoring Module, click on it in 1	the left navigation	pane or in the image			
Chassis In	ventory					
Chassis In Component	ventory	Part Number	Serial Number			
Chassis In Component /CH	ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM	Part Number 541-3789-01	Serial Number			
Chassis In Component /CH /CH/CMM	ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM -	Part Number 541-3789-01	Serial Number 0000000-0000000000			
Chassis In Component /CH /CH/CH/MM /CH/BL0	ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD,X6250	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03	Serial Number 0000000-0000000000 - -			
Chassis In Component /CH /CH/GMM /CH/BLD /CH/BL1	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000			
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BLD /CH/BL1 /CH/BLB	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY, BD, X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE	Part Number 541-3789-01 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2	Serial Number 0000000-0000000000 - 00000000 0923FM1013			
Chassis In Component /CH /CH/CMM /CH/BLD /CH/BLD /CH/BLB /CH/BL9	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY, BD, X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE Sun Blade X6250 Server Module	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000 0923FM1013 0841QAW048			
Chassis In Component /CH /CH/RL0 /CH/BL0 /CH/BL8 /CH/BL9 /CH/RL9	Ventory Name SUN BLADE 6000 MODULAR SYSTEM - ASSY,BD,X6250 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE STORAGE MODULE M2 SUN BLADE X6270 SERVER MODULE SUN BLADE 6000 VIRTUALIZED MULTI-FABRIC 10GE NEM M2	Part Number 541-3789-01 - 540-7254-03 511-1365-02 4383975-2 594-5283-01 540-7961-02	Serial Number 0000000-0000000000 - - 00000000 0923FM1013 0841QAW048 -			

 Chassis」ナビゲーション区画で「CMM」を選択した状態で、CMM の 「Maintenance」タブをクリックします。

CMM の保守用のサブタブが表示されます。

4. 「Backup/Restore」タブをクリックします。

「Configuration Backup/Restore」ページが表示されます。

mediation		a Piana	genen					genrent.	- undrus	
Firmware Upgra	ide Backup	Restore	Configura	ation Managen	ent	Reset Comp	anenti	Snapsho	£	
Configuration Backup/Restore										
Perform system co and fill in all requi when restoring a Operati Transfer Meth	ontguration ba red fields. You configuration. on: Backup od: Browser The down	ckup or rest may choose Click Run to ioaded file w	ore from the supply a start the o	his page. Selec a passphrase b peration. d according to	your b	up or Nestore pt sensitive t	from Ope Int a within	ration manu	ile or for dec	Inanation Mechool Typpting such dat
Passphrase:										

5. 「Operation」のドロップダウンリストから「Restore」を選択します。

バックアップファイルを復元するための情報をページに入力します。

ILOM の「Backup/Restore」を使用する手順の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 Web Interface 手順ガイド』を参照し てください。

6. 復元処理を開始するには、「Run」をクリックします。

復元処理が実行されます。

注 – 復元処理の実行中は、ILOM SP のセッションは一時停止します。復元処理が完 了すると、このセッションは通常の処理を再開します。通常、復元処理は2-3分で 完了します。

▼ CLI を使用してゾーン構成を復元する

先に、復元するゾーン構成を保存した CMM ILOM 設定のバックアップファイルを作成しておく必要があります。

注 – 上級ユーザーや Oracle の技術者向け: CMM ILOM 設定のバックアップファイ ルは XML ファイルです。CMM ILOM 設定のバックアップファイルが複数あり、 必要なゾーン構成が最新のバージョンに保存されていない場合は、あるファイルか らストレージ割り当てセクションをコピーし、別のファイルに貼り付けることがで きます。この操作を実行するには、復元するゾーン構成がストレージモジュールお よびサーバーブレードと同じ物理スロットにある必要があります。この手順の実行 方法の詳細については、『Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.0 CLI 手 順ガイド』を参照してください。

1. 端末ウィンドウを開き、次のコマンドを入力して CMM への SSH 接続を確立し ます。

ssh -1 root cmm_ipaddress

ここでは、*cmm_ipaddress* は、CMM の IP アドレスを表します。 ログインプロンプトが表示されます。

 次に示すように、root としてログインしてルートパスワードを入力します。 /hostname/login: root

パスワード: xxxxxxxx 正常にログインすると、次の CLI プロンプトが表示されます。 ->

次のコマンドを実行してディレクトリを /SP/config に変更します。

-> cd /SP/config

4. 復元処理を開始するには、次のコマンドを入力します。

-> set load_uri=

transfer_method://username:password@ipaddress_or_hostname/directorypath/filename.**config** 各エントリの内容は次のとおりです。

日エンドリの内谷は次のとおりてす。

- transfer_method には、tftp、ftp、sftp、scp、http、https を指定できます。
- username は、リモートシステムでのユーザーアカウント名です。(username は、scp、sftp、および ftp では必須です。username は、tftp では使用されず、 http および https では省略可能です)。
- password は、リモートシステムでのユーザーアカウントのパスワードです。 (password は、scp、sftp、および ftp では必須です。password は、tftp では使 用されず、http および https では省略可能です)。

- *ipaddress_or_hostname* は、リモートシステムの IP アドレスまたはホスト名です。
- *directorypath* は、リモートシステムのストレージの位置です。

*filename*は、バックアップファイルに割り当てられた名前です。
 復元処理が実行されます。

ゾーン構成のリセット

この節では、現在のゾーン構成をリセットする方法について説明します。 この構成には、次の手順があります。

- 109 ページの「Web インタフェースを使用してゾーン構成をリセットする」
- 110 ページの「CLI を使用してゾーン構成をリセットする」

▼ Web インタフェースを使用してゾーン構成をリ セットする

- Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。
 68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- 2. 「Storage」、「Zoning」の順にクリックします。
 - ゾーン機能が有効になっている場合は、「Zone Manager Settings」ページの 「Reset All」ボタンを使用できます。

🗐 Chassis	System Information	System Manitoring	Bower Management	Storago	Configuration	Licor Management	Remote Control	Maintonanco			
П смм	System mormation	System Monitoring	Power management	Storage	configuration	user management	Kelliote Control	Maintenance			
- 🖪 Blade 0	Zoning										
NEM 0	Sun Blade Zone Manager Settings										
	The Sun Blade Zone Manager provides a way of constraining which servers have access to storage resources (HDDs, FMODs, external SAS ports) within a SAS domain. To view or modify the chassis storage assignments. The Sun Blade Zone Manager must be enabled. If you are using an external, in-band application to manage SAS zoning, you have the ability to reset the management password if it is lost or forgotter.										
	Sun Blade Zone Manag	er: 🗹 Enabled									
	Save										
	Sun Blade Zone Manager										
	The Sun Blade Zone Manager can be operated in one of two ways. You can use Quick Setup to select from a choice of assignment patterns to get the entire chassis prepared, or you can use Detailed Setup for finer control over setup of your chassis storage resources. Choose from below.										
	Whole Chassis S	etup			Full Res	ource Control					
	Initial setup for entire	e chassis that overwrites a	ny existing configuration.	— OR -	Edit the c	hassis configuration by c	reating or modifying as	signments.			
		Quick Setup				Detailed	Setup				
	Zoning Reset										
	If the Sun Blade Zone Mar any SAS disk I/O traffic.	If the Sun Blade Zone Manager is enabled and you would like to erase all of the current configuration and start from defaults, click 'Reset All' below. Note that this action will interrupt any SAS disk (V) traffic.									
	Reset All										

3. 「Reset All」ボタンをクリックして、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。

▼ CLI を使用してゾーン構成をリセットする

- CMM CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスします。
 68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- 次のコマンドを実行して /STORAGE/sas_zoning に移動します。
 -> cd /STORAGE/sas_zoning
- 次のコマンドを実行して、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。

 > set reset_access_action=true
 Zone Manager が無効になっている場合は、次の警告が表示されます。
 set: The CMM is not the SAS Zone Manager
 このメッセージが表示された場合は、Zone Manager を有効にし、リセットのコマンドを再度実行します。

ゾーンのパスワードのリセット

ゾーンのパスワードは、ホスト OS で実行されている帯域内のゾーン管理アプリケー ションでのみ要求されます。

このようなアプリケーションを使用していて、ゾーンのパスワードを紛失したり、 忘れたりした場合は、このパスワードをデフォルト値 (すべてゼロ) に戻します。

注 – パスワードをリセットするには、Sun Blade Zone Manager を無効にする必要があります。

この構成には、次の手順があります。

- 111 ページの「Web インタフェースを使用してゾーンのパスワードをリセット する」
- 112 ページの「CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする」

▼ Web インタフェースを使用してゾーンのパスワー ドをリセットする

1. Sun Blade Zone Manager ヘアクセスします。

68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。

2. 「Storage」、「Zoning」の順にクリックします。

ゾーン機能が無効になっている場合は、「Zoning」ページの「Reset Password」 ボタンを使用できます。



Reset Password」ボタンをクリックして、パスワードをデフォルト (すべてゼロ) にリセットします。

▼ CLI を使用してゾーンのパスワードをリセットする

- CMM CLI を使用して Sun Blade Zone Manager にアクセスします。
 68 ページの「Sun Blade Zone Manager へのアクセス」を参照してください。
- 次のコマンドを実行して、/STORAGE/sas_zoning に移動します。
 -> cd /STORAGE/sas_zoning
- 次のコマンドを実行して、現在のゾーン機能の割り当てをリセットします。
 -> set reset_password_action=true

パスワードがデフォルト (すべてゼロ) に設定されます。

索引

С

CLI CLI を使用した Sun Blade Zone Manager の シャーシのストレージ構成の作成,84 CLI を使用したストレージ構成の表示および 変更, 93 CMM ILOM ファームウェアを更新するために 使用,32 CMM のリセット, 44 Ethernet 管理ポートの CLI ファームウェアのバージョンを確認するため に使用,28 Ethernet ポートの有効化, 21 Sun Blade Zone Manager, 63 Sun Blade Zone Manager へのアクセスおよび 有効化,71 コンポーネントのファームウェアの更新,42 シリアル管理ポートの CLI ファームウェアのバージョンを確認するため に使用,29 ストレージのゾーン構成のバックアップ,104 ストレージのゾーン構成の復元,108 ストレージのゾーン構成のリセット,110 ゾーンのパスワードのリセット, 112 ブレード SP プロンプトの変更, 22 ログイン, 18,19 CMM ILOM の概要, 2 CMM ILOM のバージョン, 2 CMM ILOM への初回ログイン, 17 CMM ILOM への接続

DHCP, 10
シリアル接続, 7
静的 IP アドレスの設定, 9, 11
CMM ILOM へのログイン
Web インタフェースの使用, 18
CLI の使用, 19
CMM の Ethernet ポート、有効化, 19
CMM のリセット
CLI の使用, 44
Web インタフェースの使用, 43

D

DHCP CMMのIPアドレスへのアクセス,10

Е

Ethernet ポート CLI による有効化, 21 Web インタフェースによる有効化, 20

I

 ILOM CLI インタフェース ログイン, 19
 IP アドレスの割り当て CLI を使用した編集, 10

S

Sun Blade Zone Manager CLI, 63 CLI を使用したアクセス, 71

CLI を使用した有効化, 71 Web インタフェースを使用したアクセス, 68 Web インタフェースを使用した有効化, 68 概要,60 サポートされる ILOM インタフェース, 60 サポートされるハードウェアおよびファーム ウェアの構成,67 シャーシのストレージアクセス構成の作成 CLI の使用, 84 Detailed Setup の使用, 80 Quick Setup の使用, 73,77 ストレージアクセス構成の保存, 101 ストレージアクセス構成表,99 ストレージ構成の表示および変更 CLI の使用, 93 Web インタフェースの使用,87 ストレージデバイスへの複数のサーバーブレー ドの割り当て,95 ゾーン構成のバックアップ CLI の使用, 104 Web インタフェースの使用, 103 ゾーン構成の復元 CLI の使用, 108 Web インタフェースの使用, 105 ゾーン構成のリセット CLI の使用, 110 Web インタフェースの使用, 109 ゾーンのパスワードのリセット CLI の使用, 112 Web インタフェースの使用, 111 Sun Blade Zone Manager Ø Detailed Setup, 80 Sun Blade Zone Manager O Quick Setup, 73, 77 Sun Blade Zone Manager の概要, 60 Sun Blade Zone Manager のストレージアクセス 構成表,99

W

Web インタフェース
CLI を使用したストレージ構成の表示および 変更, 87
CMM ILOM ファームウェアを更新するために 使用, 31
CMM のリセット, 43
Ethernet ポートの有効化, 20 Sun Blade Zone Manager へのアクセスおよび 有効化,68 コンポーネントのファームウェアの更新,40 ストレージのゾーン構成のバックアップ,103 ストレージのゾーン構成の復元,105 ストレージのゾーン構成のリセット,109 ゾーンのパスワードのリセット,111 ログイン,18

す

ストレージアクセス構成の保存,101 ストレージデバイスに割り当てられる複数のブ レード,95

せ

静的 IP アドレス 設定, 9,11

ふ

ファームウェア
CMM ILOM の更新, 25
CLI の使用, 32
Web インタフェースの使用, 31
Sun Blade Zone Manager の要件, 67
現在の CMM バージョンの確認
Ethernet 管理ポートの CLI の使用, 28
Web インタフェースの使用, 27
シリアル管理ポートの CLI の使用, 29
コンポーネントのファームウェアの更新, 39
CLI の使用, 42
Web インタフェースの使用, 40
ダウンロード, 30
ブレード SP CLI プロンプト
変更, 22